

ボランティア報告メモ

全記録

府下各地の組合員がボランティアに参加した。大阪教組は、ボランティア引き継ぎ事項、刻々の現地情報の入手、新たな措置の検討等のため、現地からの電話、ファクスを求めた。

ボランティア派遣全期間の具体的流れを記録として残すため、その報告メモを全文掲載する。

2月6日

上野中 林

11時48分頃に学校着 ガス・水道
まだ来ぬ。

17時 夕刻(夕食時、避難民35
0人)。

JR芦屋から3人タクシー(2
800円)道は予想外に走れた。
駅前にタクシー客待ちの状況。

11時40分現地着 付近は大きな家
多く、思ったより落着いている。
破損家屋も多くはない。ボラン
ティアの数も多い。避難の方々は約
350人。昼間は避難民の方々は
少なく夕刻から多くなる。

別行動で調査した女性の報告

JR芦屋バス六甲(待30分乗車
時間40分)

バス六甲へ徒歩

12時30分 現地着

9:00 AM 教育会館3F

結団式

日教組傘下各県高教組+大阪教組
10:00 AM 高教組書記局で若干
の意思統一後立間副委員長を加え、

4名で出発

11:00 AM頃 JR芦屋着

タクシーで移動(装備多数のため)

11:40頃 現地着

参加者 西脇 豊(八尾南) 長
沢 裕(北千里) 林 茂樹(本
部)

現地到着後すぐに校長室を訪問、
自己紹介のあと、校長より説明を
受ける。また、校内を案内される。

☆学校(生徒)の被害状況

在籍 646名 19cl(うち1
cl養護学級)

生徒の自宅 約半数小破 約半
数半壊(住めない状態) 数戸全
壊

そ開した生徒約 100名、学
校に避難している生徒15名

転出した生徒ー現在把握中

☆被災者の状況

ピーク時 1000弱

1週間後 約800

2週間後 約700

現 在 約400~450

昼間は半分?

特別教室等に入ってもらってい
る。一室に数名から50名

☆ボランティアの状況(体制)

。診療所 医師、看護婦6名前
後常駐、外科・内科・精神科。
。(明日からは歯科の回診も予定)。
。宿直看護ボランティア 2名

24h体制ー看護学生。

。学校解放委(「PTA」ー地域
の人々)約35名がローテーション。
。

。民間ボランティア。

。学生ボランティア 通いも含め
5名ぐらい。

。日教組派遣団、3名。

☆ボランティアの業務について

。あくまで「上中ファミリーK」
の支援活動。

。仕事を発見し自主的に。

。ファミリーの自立を妨げない。

。学校解放ボランティアの中に
入って活動。

。自治組織リーダー「ウエムラさ
ん」の指示。

。老人・病人の介護。

。「3年生自主学习」の援助?。

☆学校の現状

2/1より生徒を登校させて
いる。被害の調査・HR

2/6より2h程度の授業↓

教職員の数がやっとそろそろ

教職員は2名が宿直・リーダー
会議に出席しているが、基本的に

生徒への対応に振り向きたい。

付近の小、中では、全室に被災者
が入っている学校がある。

。長峰中 校舍無事・グラウンド地

すべりの危険。

。鷹匠中 校舍傾いているが、全
館避難所に。

。御影中 校舍やつと立っている。
。えぼし中 鉄工所の建物借りて
授業。

。原田中 仮設テント(グラウンド)
で授業。

。まや小 ほとんどの部屋を避難
所に。

。福住小 2/3部に分けて授業。
。絶対的に気をつけること

。「避難民」という表現を使わな
い。ナールバスになっている。

ファミリーあるいは被災者と言
うこと。

。保育ルームのことは口外しない
こと。外部からあずけにくると
困る。

☆本日の仕事内容(午後)

。資(日用品)をトラックから倉
庫へ運搬。

。断熱材(マット)をトラックか
ら講堂へ運搬。

。夕食のセットと分配。

あとの時間はボランティア控室
(印刷室)で待機。

☆留意点

。基本的に各部屋ごとのリーダー

が中心になって自治的に運営、すべてのことについて、そうしている。

○全体のリーダー「ウエムラさん」と学校解放委のボランティアが相談しながら事を運んでいる。

その指示に従うこと。

○他のボランティアから情報の収集。

☆連絡（職員室前のTelから）

○PM1：30か2：00頃 岸川副委員長へ。

○PM5：40頃 鎌田委員長へ。

☆各自持ちものの管理は自分の責任で（盗難の恐れ）

☆リーダーズ・ミーティング（部屋長会議）

PM7：00 西校舎2F理科教室 進行 ウエムラさん

①ふとんの下に敷くマットの分配。

各部屋必要数の申告。

②ガスボンベの処理。底に穴を空けて。

③ペットボトルの空びんの処理。

荒ゴミと生ゴミ。

④タタミの必要枚数。（余ったものは3F講堂）

○会議終了後、マットの分配、タミミ3F講堂へ運ぶ。

業務終了PM8：00

山口

神戸への交通経路、および避難所の様子

天保山→ハーバーランド→市役所

↓稗田小→福住小↓（バス）↓西宮北口→帰局（予定）

○稗田小：西宮北口↓（無料レンタル自転車1時間ほど）↓王子公園→バス↓11：00着

○副住小：西宮北口↓今津↓（阪神）↓青木↓（徒歩2時間）↓11：00ごろ

帰りは、王子公園から西宮北口へバスがでていて、交通規制のおかげで、わりとスムーズに帰れるらしい。

2月7日

午後12時30分 書記局発

13時30分 大阪港 天保山 着

神戸・淡路島方面臨時便運行

三汽船会社ほどあり

14時20分 出航（共同汽船高速船）

15時10分 神戸ハーバーランド着

15時50分 神戸市役所災害対策本部着

↓（義援金27万円を渡す）

社会党東住吉総支部として（三宮経由）

←

16時40分 稗田小着

17時00分 副住小着

17時30分 JR灘（王子動物園前）臨時バス停留所よりバス乗車

19時10分 JR芦屋駅着

20時30分 書記局着

避難所ではそれぞれの役割分担で奮闘

他の団体ボランティアも参加している（炊き出しなども）

県派遣ボランティアはテント生活も

交通については

稗田組 阪急西宮北口からレンタル自転車（学校まで2時間）

福住組 阪神青木より徒歩（学校まで2時間）

それぞれ相談・工夫して単組でも引き継いでいる模様

本日からJRが住吉まで開通するのでバス・徒歩とも1時間で行けるのでは

2月6日

摩耶小 許斐司

1時30分頃に学校着

連絡なし

2月6日

稗田小 橋口 哲

2時頃に学校着 物資の仕分け

6時 物資の仕分け

2月6日

副住小 宮崎真吾

2時頃に学校着 掃除その他。

水道が出ている。

6時 掃除その他。

パン食が多い。

2月6日

用海小 田中 工

○ゼンセン同盟の専従（川崎市から）1人はりつき、日帰りで7～8人を動向

○いろんなボランティアがたくさんいるが変動あり。

○昨夜は学校の職員ということで、宿直をまかされ、当校の職員は、全員帰宅してもらい、これが最大の貢献。

○でしゃばれば問題はあるが、ボ

ーとしていけば仕事はない。

○食事は被災住民優先なので、ないこともあった。何か少しもつ

ていったほうがよい。

○灘、東灘、芦屋に比べて、被害

は少ない地域。

。引きつぎ（泉州）は、きちんとできた。

2月6日

用海小 田中 工

10時30分頃に学校着 被災住民の世話。

ゲームテープ、マジックがあればよい↓明日の泉州組に連絡する。

夕刻 炊き出しの手伝い、トイレの水くみ、宿直

。宿直が教職員の負担を軽くするので最大の貢献になる（田中工）

。明日から貝塚教組が携帯電話を持参し、現地においてくれます。

（番号〇三〇一六〇一五〇）

高見康裕

通常の報告は、本日午後三時以降に行いますが、少し現場の状況の輪郭が明確になってきましたので、先に報告します。

泉州・南河内担当―西宮市立用海小学校

※一番喜ばれていることは、毎日3人が泊まるということで、教職員ということでも校長教頭から信頼されている。それだけに責任を持った対応が必要。

1、ゼンセン同盟のボランティア部隊が、多く参加しており（日帰り）、2・3人ずつ泊まっている。彼らとの関係は、お互いに「口出し無用」です。棲み分けは、次のように予定調和的に固定化する見込み。

学校が再開されており、朝八時から夕方五時過ぎまでが、子どもと当該教職員の時間帯で、教室・職員室を学校教育用に使う。

ゼンセン同盟の担当は、避難者へのボランティアで、体育館と給食室と校務員室と運動場の一部が、担当になる。

我々の担当は、中心的には、午後六時前後に校長に帰ってもらって、校長室での電話連絡と夜間警備。昼間はゼンセン同盟が多い場合は、仕事がありません。

ゼンセンの場合、リーダーだけは常駐（日帰り）しており、ボランティアの部屋（校務員室）には、教組のスペースがない。

2・6日（月）の南河内教組参加の時から状況の変化は以下の通り。

●朝5時半起きて、朝食にかかる人員が我々側から2名は必要。理由は、他のボランティアがま

だ到着していないから。

●教職員が帰宅後から午後9時過ぎまでは、被災者からの用事や子どもの対応など結構いろいろあることがわかってきた。

●8日、学校長が教組に頼みたいこと等、マニュアルを作ってくれている。

●8日は、ゼンセンのメンバーが少なかったので、まき割りなどの仕事もできた。（プロパン等はいっさい持ち込んでいない。火の気には非常に敏感になっている。）

●西宮は全体では県教組ですが、用海小では全教の勢力が何人が居るらしく、職員室に全教教研のポスターが貼ってある。「私たちは、教職員ボランティア」であることを、それとなく強調している。ボランティア参加者は、あまり教職員と話す機会がないので、この事については気にしていない。責任者にだけは、その旨きつちりと引き継いでいく。

●昼間居るところがないので、貝塚教組の公用車を1台常駐させ、そこを我々の荷物置き場にする。●したがって、昼間の間の寒気を

防ぐのが、参加者にとって一番大事です。

●ボランティアの食事は、炊き出し分では足りないことが多い様子なので3食の2人分持つてくるべき。

用海小学校教育復興ボランティア現地レポート

日教組泉佐野

田中書記長 より

用海小学校の概要

*17日から校長や教職員が交替で泊まっていたので、ボランティアが来てくれたたいへん喜んでくれている。

*授業は始まっている。（給食なしの午前中授業）

*校舎に被害は少なく、危険箇所は特になし。

*電気は復旧しているが、ガス、水道はまだ。

*校舎・教室は授業に使用。

*現在男性教職員七名が出勤。

*講堂に約100名の方が避難されてきている。

*ボランティア活動を行う場所としては、条件整備されているところという印象。

*女性のボランティアの方の就寝場所有り。

*男性は警備も兼ね、校長室で宿泊、ストーブも有り、暖はとれたとのこと。

*飲食はみんなと同じにできる。また、ボランティアの飲食も自由。

*近辺に店有り、特に困るものはない。

*救援物資もだいたい網羅されている。牛乳、コーヒー、お菓子、パン類も常時用意されている。

*トイレ・仮設トイレは比較的きれい。毎日何回かボランティアがかたづけ、清掃している。水はプールの水をくんで使用。

*通常火の気がないので、暖かい服装が必要。

*だいたいのものが揃っているので、自分の身の回りのものがあればOK。

*たき出しの量が少なめなので、自分の食糧を持っていくこと。仕事の内容

*たき出し、トイレの水をプールから汲むこと、トイレの清掃等については、ゼンセン同盟のボランティアの人一〇名一七名でしてくれているが、教職員の

方でも応援をするときがある。

*主な仕事は、夜間の職員室の警備（午後七時～翌朝）電話対応になりそう。しかし、不確定であり、引継ぎの際、確認する必要がある。

*仕事に特に重労働はなく、時間がけっこう余る。しかし、ボランティア人数の増減があり、臨機応変な対応が必要。

2月6日

平木中 西村 猛

11時頃に学校着 たき出し手伝い、物質運び。

指示がないので積極的に判断必要。16時 夕食と明日の朝食の数を準備。救援物資運び込み。

他労組との交流もあり、有意義な活動であった。

2月6日

平木小 林 二郎

11時頃に学校着 すぐに学校長、分会長に挨拶。学校長はかなり疲れているようす。学校が始まっているので、指示はボランティアの代表の松浦さんという人から受けるということです。

「職業も様々だし、こういう時

なので、失礼があるかもわかりませんが……」ということです。なお、ボランティアの総数仕事の内容等はまだわかりません。

職員室横に「現在不足しているもの」のほり紙

大なべ、くつ下、学用品、カップラーメン、かんづめ、大人用くつトイレの洗剤、紙コップ、カイロ、箱ティッシュ、ドライシヤンブー、下着、乳幼児おむつ

。現在、避難の人約500名。体育館、教室にいる。

。児童は全校約460名のうち（2名死亡）7割が登校（10：00～12：00）

。避難の人々の中での自治組織はまだ確立していないようで、トラブルも多いよう。

。ボランティアの数は、日教組、ゼンセン同盟と学生の約30人程度。

。東大阪、八尾のチームは、生活物資班と食糧班にわかれ、リヤカーで校内と周辺地域に配るという仕事。今後この形になりそう。人手がないので夕方に夜と朝の食事をくばる。

。教職員は自分も被災している人が多いので9：00ごろ出勤。4：

30ごろ帰宅という形になっている。（教職員の死亡者はなし）なかには泊まる人もいるが――。ボランティアは基本的には通いの人が多いよう。

。ボランティアの食事の支給はあったが、やはり一食ぐらいはもつていった方がよいのでは……（林）コップ持参のこと。

。名ふだがあつた方がよい。

。道行く人に声をかけて、リヤカーで物資を配っています。すぐに黒山の人だかりになります。

。ハンドマイク（小さいもの）があればいい。

。「これかけた家」の中からも人が出てきてとても喜んでもらえています。

17時 校長・教頭や、分会の中心的な人（分会代表者など）に、日教組の常駐体制は、十分認識してもらった。リヤカーのカンパを必要としているようで、八尾、東大阪で検討中。2・13（日）早朝に、東大阪日朝友好の会の炊き出し（トック）を、セットし、受入れの了解をとった。平木小学校は避難者の自治組織の体制が、西宮では一番困難となっているもよう。

2月6日

西郷小 矢倉重明

青木まで電車徒歩50分。

12時30分頃に学校着 昼食時は職員室は誰もいない。被災者は100人ほとんどの教室が避難場所として使われている。

16時 未だ仕事内容が確立されておらず、待機する事も、(食事は出る、就寝は室内)

2月6日

西宮西高 井上

11時頃に学校着 体育館に120名の避難者・物資の管理を「ゼンセン同盟」から引きつぐ。

17時 午後、仕事なし
高校の校長から2人でやれる仕事ですと言われた。

仕事少なし。

活動場所は食堂、夜九時まで。九時以降は警備会社より人がくる。ガス・水道は止まったまま。

2月6日

段上小 寺島正

11時30分頃に学校着 名札があればよい。道の入った地図があれば便利。

18時 情報板の整理。

夜間の対応が期待されている。

15時 大変感謝された。

2月6日

原田中 田中 尚

13時前頃に学校着 阪神青木駅代替バス待3時間という事で徒歩1時間半で現地入り。

トイレ水くみ。救援物資の荷ほどき、ボランティア隊で地域への配布、地域の人々の問い合わせに対する受付、教頭の指揮下で自治的、整然としていた。

徒歩5分の所にコンビニがあり、物には不自由しない。

17時 炊き出しリーダーがいて、ボランティアは口も手も出すことは禁物。夕食後は職員室で電話番号。

宿直は三人で原田中の先生がやっておられたがボランティアが来たことによって2人体制に変更された。

受付の手伝いも8:30~17:00兵庫県職員がいるのでそれ以外の時間帯で手伝いができる。宿直室の提供は断わる。

14時 朝からの阪神電車の事故の情報が入った。大阪教組としてやって欲しいこと。原田中校内の自治体制は確立

され、ボランティアの仕事はなかなか見つけにくい。むしろ周辺住民の中でテント生活をしている人の精神的ショックは大きく精神的

ケアが必要であると同時に、周辺の住民にこそ、軽トラぐらい調達して食料等の配布をしたら、もっと役立つと思う。原田中校内でのボランティア活動はなかなかむずかしいものがある。

2月7日

上野中 椎口

10時30分頃に学校着 阪神の事故で道路渋滞。

JR芦屋からタクシー50分。

日中はあまりない。日帰りのボランティア多い。

15時 夕食の配布 給水車からの水の配布。

王子物資センターからの物品の輸送特徴時間が多い。

17時 今日朝から忙しかった。待時間にコーヒーぐらい(暖かい)と思うが、ぜいたく? 特に足りないものはない。ボランティアの仕事は刻々変化していきそう。

2月7日

摩耶小 丸山

18時 仕事の主なことはフシンバン、他に廃材はこび、湯わか

①引き継ぎは、昼食を自分ですて、1:30ごろがいいのでは?

私が入った時に、昼食を用意してくれて何かお客様みたいな感じでよくなかった。

②学校側とは、何も問題はないが、被災民との関係がむずかしい。「何しに来たんだ」という感じ。食事のことも、判断がむずかしい。

③33人も入らない。縮小してもいいのでは?

2月7日

福住小 高井千影

12時頃に学校着 登校指導、炊き出し手伝い、お茶管理、電話番号。

泊まりはけっこう暖かい。他のボランティアが入っている。(東京、10名)

17時 他のボランティア団体の支持されたことをする。炊き出しの手伝い。湯をわかす。物資の配布、登・下校の指導。水道は使用可。

17時 避難所の住民生活は落ち着いている。住民からテレビ、雑誌、おもちゃの差し入れを望む声が出

ている。東南支部は九日に本、おもちゃの差し入れをします。

2月7日

用海 田中治朗

13時頃に学校着 阪神電車不通のため、JRを使った。
まきへの火つけ等。

18時 午後はあまり仕事がなかった。泉州の事務局が2人訪問し、学校長であいさつした。

夜のけい備が大事な仕事。

15時 夕方、校長室を引きついてから、9時過ぎまでいろんな仕事があった。朝五時半起きて炊き出しをした。

ゼンセン同盟等のボランティアは、ほとんど印刷なので、朝の準備をがんばる必要がある。

2月7日

平木中 前田 健

10時30分頃に学校着 物資の整理、うどんの炊き出し、うどん配布。救援物資はもういい。子どもへの手紙をもつていたら担任の先生、涙を流して善んでおられた。

15時30分 仕事内容（昼食の用意等） 全員無事 帰宅。

2月7日

平木小 古田之男

10時頃に学校着 トイレの水汲み、清掃、リヤカーで地域回り。夕方、食事類を500人に配るしごと。

16時 同右。リヤカー、台車が必要。

2月7日

西宮西高 兼子陽子

17時 仕事が少なく手もちぶさた。被災者の自治組織づくりが進行中。

2月7日

西郷小 矢倉重明

10時頃に学校着 食事運搬 準備室整理。

現地の教職員は子どもとかかわりがあり、我々のチームの活動を大変感謝されている。

17時 17時から22時まで被災者への電話の取り継ぎ。

昼間は出勤する人がいて少し減る。

14時30分 引きつぎがしんどい、手順をおしえていく。

2月7日

段上小 中前

10時30分頃に学校着 現場教職員

は支援。

もち物は不要。避難民当初約1000名↓現在約100名

18時 物資は足りている。世話内容はあまりない。学校警備も含まれている。

2月7日

原田中 渡辺恵子

11時頃に学校着 トイレ水汲み、ゴミ収集など。

学校の職員の方は、連日大変そうである。

17時 炊き出しの手伝い 受付配給物資の運び込みなど。

地域の破壊状況はひどく、避難してきている人は年配の人が多い。

13時 仕事内容（配給物資 地域への配布など）

自治活動がしっかりしているので、サポートの内容やタイミングがむずかしい。

2月8日

摩耶小 城北支部

17時 夜、3時間交替で不寝番。

● 先刻、谷川委員長が来てくれた。
● 校長さんから、被災のようすを具体的に聴く。

2月8日

稗田小 志智

10時10分頃に学校着 電話の後は、清掃、物資搬入。 特になし。

17時10分 特になし。
前泊組（南大阪）無事帰還。

14時45分 バストロトロ口。特になし。

2月8日

福住小 手塚

10時頃に学校着 食事の分配。湯の準備、話し相手。被災者も整然。

品物は豊富。水は通ったが、飲料には未だ不可。ガスなし、校舎全部を避難所になっているので、授業再開ができないので、学校側が困っている。

19時 細かいことは谷川委員長・支部に報告した。よって、後日報告します。

2月8日

上野中 辻

10時30分頃に学校着 荷物の積み降ろしで本日は仕事多い。食事はカップラーメンは現地調達可能。

19時 今日忙しかった。夜にも衣服類の配布の作業。

15時 食糧や、水は持参しなくて

も大丈夫。

2月8日

用海小 細川

10時30分頃に学校着

18時 あまりなく。

15時 何が必要か気くばりです
動くこと。

2月8日

平木中 小林弘典

13時頃に学校着 便所の脱臭。昼
食の準備(館の調理)

17時 住宅用具の運搬。夕食の配
布。

15時 物資搬入。湯わかし等。
なべ不足。用意できればほしい。

2月8日

平木小 国分 三木

10時頃に学校着 物資・食料配給。
リヤカーが欲しい。

17時 物資配給、水くみ etc。
うまくやっています。

15時 うまくやってきました。

2月8日

西宮西高 小泉和彦

10時30分頃に学校着 特になし。

17時 特になし。

◎連合兵庫阪神支部と連絡をして
必要な物資をボランティアが要請
したら可能な限り対応することと
とりつけた。

◎ボランティアは救援物資・食料
をもらわず、一泊二日の活動がで
きるようこちらの方で電気ポット、
コンロ等を手配した。

2月8日

西郷小 富嶋 修

10時頃に学校着 清掃、運搬、給
水。

17時 電話番号。

15時 名札等が必要。

2月8日

段上小 丸岡

10時30分頃に学校着

17時 トイレの水はこび、運動場
のライン引き、被災者のチェック、
電話番号。

特になし。カメラ、記録に残す。

2月8日

原田中 山本公子

12時頃に学校着 JR住吉まで現
地入りがたやすくなった。

トイレの水くみ、受付(住民の問
い合わせ) 原田中との連携ができ
つつある。

17時 受付、宿直室の提供を受け
た。

14時 授業再開との関連でボラン
ティアの必要性を強く感じた。学
年2名の生活ボランティアを出し
ていて限界なので私たちのボラン
ティアの力は大きいと感じた。

原田中学へ 支援ボランティアに
行って

支援の一日の日程表

6時 朝食配分 受付。

6時50分 昼食用物資搬入。

7時 トイレ用水運び。

(10時・16時45分 地域救援隊出
発) 一日一回、物資の余り具

合によって。

物資の整理

11時30分 昼食配分

15時 炊き出し準備

17時 受付ひきつぎ 21時ぐら
いまで

(受付の区役所の方のキム
時間は9時~17時)

19時 ミーティング(各部屋から1
名、原中、ボランティア)

22時 グランドのたきぎを消す

22時30分 消灯、被災者で。

配給

食事 避難所に朝夕は250人程、
昼は100人程。

外部から食事だけをとりくる
人……50人

予備50人分が届いています。

新鮮なやさいがほしい。

炊きたてのごはんを食べたい。

物資は学校宛に届くのでその学校
で考えてつかう。

●炊きだし(隣の避難所と物々交
換はしない)

復興のようす

神戸市開校率……74%

幼(76%)

小(68%)

中(89%)

高・高専(62%)

養護(50%)

隣の西灘小の児童は、近くの私企
業の集会室などで、臨時登校をし
たらしい。

原田中では、2教室をつかって、
2月1日から各学年学習室(授業)
を再開しています。

○午前、午後の二部制
○隔日で、60～70%の出席率です。
教師の配分

昼

○支援 学年2名ぐらい 合計6名
○学習室などにのこり

宿直 3名↓2名(於 校長室で)
ボランティア3名(於 受付とか
校務員さんの部屋)職員室とか。

ボランティアに望むこと

受付 物資配分 炊き出しなど
救援部分で

受付をしてみても

被災者にもいろいろな事情の方
がおられるのではけ口に受付に話
にこられたり、いろいろと……あ
りました。

2月9日

摩耶小 伊藤

JR住吉歩1+h
予定より早く到着した。

16時30分 トイレ掃除、炊きだし、
物資、つみおろし、火の番。
今、雨が降り出して来て、炊き出
しが心配。

15時 住吉へ向かって歩いている

途中。

服装↓暖かく、汚れてもいい。

2月9日

B稗田小 橋口

前日と同じ

夕刻 前日と同じ

15時 特になし。

2月9日

福住小 園田寛一

10時頃に学校着 (於 住吉より
徒歩一時間) 他のボランティア、
市の職員。役割分担表が壁にはつ
てある。いろいろな仕事がある。

本日は丹波より炊きだし隊(ぞう
すい)大好評。

P M 3時 紙芝居。

16時45分 特になし。

2月9日

上野中 妻木

10時30分頃に学校着 物資のしわ
け、夕食の炊きだし準備(時々あ
るらしい。)

水、食料はボランティアにも用意
されている。——持参不要。

18時 夕食、炊きだし世話。本日
は牛鍋のふるまい。

15時 本日は暇。やや早めに解散。

2月9日

用海小 富田鷹弘

10時頃に学校着 炊きだしの手伝
い。朝食の関係は午前9時に終わ
った。

18時 昼食の炊きだし手伝い。夕
食の炊きだし手伝い。

朝5時30分起床。朝食の炊き出
しは、泊まっている人が少ないの
でがんばった。昼間雨が降ってき
たとき、校舎内に立ち入れない。
貝塚教組のボンゴで寒さと雨をし
のげたのはありがたかった。なお、
エンジンをかけると「ひんしゆく
を買う」といわれていたが、バッ
テリー上がりでエンジンをかけら
れなかったので、ちようど良かつ
た。

2月9日

平木中 太田静賀

10時30分頃に学校着

17時 夕食・朝食準備 水かき

15時 ウイットティッシュがほし
い。文具、色画用紙、マジック、
地図

2月9日

平木小 重松、野口

リヤカーがほしい。

15時20分 特になし。

2月9日

西宮西 川嶋

10時30分頃に学校着 救援物資の
管理

17時 救援物資の管理。夕食の手
伝い。

11日より、解散時間を15時↓正
午に変更。

2月9日

西郷小 森野 修

10時30分頃に学校着 食事の配膳。

17時 食事の配膳。

15時 1泊2日とはいえ名ふだが
あった方がよい。風呂の水をたす
ために女性を必要。

2月9日

段上小 大藤哲郎

10時頃に学校着 教室の清掃等

17時 炊き出しの手伝い等

15時 カセットボンベ・色画用紙・
マジック・ガムテープ(洗たく機)
・(電子レンジ)が不足している

とのことでした。

2月9日

原田中 辻本昌彦

10時頃に学校着 物資の配分、電話当番、昼食仕分け。

17時 トイレ用水運び、地域物資配達、夕食仕分け。

13時 原田中学の教職員に学校教育に専念してもらうために。

2月9日

辻本、加藤、村田

10・30 全員到着、引きつぎ、組合にTEL。

11・00 トイレ消毒 電話当番

(避難住民に伝言)

11・30 昼食仕分け

12・00 昼食

ウーロン茶ことわる。

13・30 物資の運ばん手伝い(テ

ツシュ、米など)

15・00 炊き出し準備

16・00 地域救援隊出発。原田中

の先生といっしょに行動、

住民に大変喜ばれる。

16・30 夕食仕分け

17・00 夕食

19・00 反省会と連絡(2F調理

室)

20・00 トイレ用水を運ぶ

17・00 21・00受付(特になし)

22・00 校舎内の見廻り。

5・45 起床

6・00 朝食仕分け

6・30 朝食

7・00 トイレ用水運ぶ。

7・30 たき木わり

9・00 トイレ用水運ぶ。

9・30 物資の運ばん(白米、ジ

ユース、衣類)

10・00 地域救援隊出発(おじや、

弁当、茶)大変喜ばれる。

10・30 高槻教組引きつぎ。

2月10日

上野中 三輪

10時30分頃に学校着 昨日と打っ

て変わって全く暇。待機中。

17時 暇である。

13時 ザル、水切りゴミ袋、持つ

て来て下さい。

2月10日

用海小 田中勝雄

10時頃に学校着

18時 水くみ(トイレへプールか

ら)、ガラスの破片ひろい。

12時 交通中電話はなかった。泉

州の交代が早くきて、引きつぎも

すんだので正午には現地発。

2月10日

平木中 浅利 泰

10時30分頃に学校着 炊き出し、物資の仕分け。食事とき以外は

割とヒマ。

18時 夕食の配布。何かしてあげ

たいという思いで、あれこれしよ

うとしたら避難者の自立を妨げる

のでダメといわれた。

15時 引継ぎもすんで3人とも元

気。これといつて必要なものは今

のところなし。

2月10日

平木小 松田、上西

10時頃に学校着 特になし。

16時 次の日の人のために何か食

料を(朝食用)

2月10日

西郷小 徳田秀彰

9時45分頃に学校着 給水作業、部屋をあげるための荷物の移動、

物資の搬入。

16時 児童のための部屋の油ぶき。

名ふだがあったほうがよい。お

ふろでの作業があるため女性が多

いほうがよい日がある。

2月10日

摩耶小 西山

ボランティアに対して、食事・用具については救援物資でなく、自前で用意するよう特に注意しています。

※クレームがついているわけでは
ありません。

引きつぎは昼に変更しました。

ボランティアの氏名変更ありません。

2月10日

原田中 垣内明夫

11時頃に学校着 昼食の物置搬入の手伝い。

炊き出しで新鮮な野菜が足りない。

不足しているものについては、原

田ファミリーのコック長の要望に

応える形で、三島Aの独自の判断

はおこなわないことを確認。

17時 卵が不足しているので、摂

津から100個(2/11)。高槻

から100個(2/12)運び入れ

ることになる。

14時 新鮮な野菜と同時に原田フ

ファミリーの要望として炊きたての

ごはんが食べたいとのこと。

時間的に開いている時、被災され

た人々といろいろな話をしていたら「100万円貸付の保証人になつて欲しい」と言われ断わると「ボランティアとはそんなものか」と強く反発される。

2月10日

三木、垣内、畑中

10・30 到着引きつぎ 前任者、町へ食事を届にでている。
電話当番。

11・30? 昼食仕分け。

12・00 昼食 この間、3回物資がくるが、糧も少なく、すぐおわる。

15・00 炊き出し手伝い、タキ木割り ナタが必要。皮ムキが必要。

16・00 地域へ救援物資配布。足の悪い老人が物資がなくなつてからこられた。物資がいきわたっていない。

17・00 市職員帰宅。

17・30 トイレの水くみ。

18・00 夕食(スープ・スパゲティ) ※とてもおいしかった。残つたのもらえた。

19・00 世話係会(反省と連絡)

2F調理室

〈今日の反省と明日の課題〉

●男子トイレに女子が入る↓男・女が両端なので、男女の区別がつかないのが現状。夜中に大変だ。(お年寄り)

●明日は青空市。

●7時30分に調理室。

●住所名簿がとどいてない。

●タオル、トイレットペーパー、歯ぶらし、歯みがき粉↓受付にあります。

●歯科の受付(1-2・1-3)

※現地教頭よりの話

栗山つねのさん(おばあちゃん)。朝夕のお湯(ポット)をくんで渡すこと。部屋は美術室。一人だけ後に入室したためわりにたのみにくいし、外の湯わかし場に行きにくそうである。

19・30 物資調整会議(2F調理室) ↓青空市の準備について(各室2人計24名参加) 14時開催。

●13時集合(調理室)

●1人2点/5分↓人数を区切つて5分ずつ。一方通行、もう1度ならぶのあり。

●配置、男女別、子ども用、大人用。

●場所 バスケットゴール前。公平でなること。

●外部から来る者はこばまない。できるだけ出し切るようにしよう。

●1の1-1の4、3の1-3の4、生保の3グループ

●ほしい物は係の人に言つて下さい。出口で2点のチェック。

20・30 トイレ水くみ(3Fが不足気味)

20・00 から職員室電話番号。↓10時頃まで。※受付は17時

22時頃まで。

22・00 校舎内の見廻り。

5・45 起床。

6・00 トイレの水運び(自治組織で担当がいるのですが、やりすぎに注意)

6・30 朝食準備

7・00 朝食(牛乳orジュースとカップめん)、物資の搬入(牛乳・ジュース・パン)

8・00 トイレそうじ(水は各当番で水を運んでおられるのでまかせ)

9・00 トイレの水の補充と確認

9・20 物資搬入

10・00 トイレ水補充

※電話の対応

AM 5時30分頃から問い合わせ

の連絡が入っている。休日なので対応が多くなるだろう。電話番号必要。

震災後、現場の先生方も休日でも出勤されていたが、ボランティアが入つてから初めての休日なので、14時現在6-7名しか出勤されていない。

2月11日

上野中 鶴飼

10時30分頃に学校着 食事の用意はいらない。

17時 排水溝の掃除。食糧の整理。

15時 阪神御影から六甲へのバスはスイスイ走る。

2月11日

用海小 安野

10時頃に学校着 トイレの水くみ。炊き出しの手伝い。

泉州は車禁止だが、電車で泉佐野から二時間もおからない。

18時報告 昼食の炊き出し手伝い。

夕食の炊き出し手伝い。

休みの日なのでボランティアの人数が多い。

15時 兵庫県教組の組合員と話しが出来た。地震のこと西宮の教育についてわかったことも多かった。

「教育復旧には、1年以上かかる」

ということだった。150人の名簿だが、常時居るのは60人ぐらいに減っており、避難所から仕事に通ったりする人がさらに増えている。日曜日の午前中、堺の山下委員長が、夜には貝塚の高見委員長がボランティア用の果物を持ってきた。日曜日の夜が一番動きやすいという。

13日の月曜日から午後3時～翌日午後6時の参加体制を、用海小学校長の快諾を得た。

2月11日

平木中 舟木祐二

10時頃に学校着 昼食配り、救援物資荷おろし。

比較的落ちつき、自信ができています。

18時 夕食用意。道一つはさんだ平木小学校とのちがい。

15時 ボランティア活動するときの用具（マジック、ひも、紙、ガムテープetc）は数回届け（組合から）ているが、特に消耗品的なものがすぐに必要となる。現地で購入するものは買ってもよいように指示している。他の所でも同様では。その費用についても検討す

ることがいるのでは。

2月11日

西宮西高 西山

。特に変化はありません。
。雨が降っていて人の動きがないとのことです。
。トイレのつまりがひどく苦労しているとのこと。

2月11日

原田中 大賀、詫間、菅井

9時30分頃に学校着

11・00 稗田小 （市・矢野さん）：順調です。

福住小（泉南・川島さん）

仕事は炊き出しの世話に水の補給等、ガスが不足してきたので、来る人にカセットボンベを持ってきて欲しい。

12・30 福住小（ク）

書記長が激励に來られた。引きつぎ終了。元氣。

12・55 西郷小（大東榊田）

13・40到着。仕事は給水で日曜なので、たくさんの方が水をもらいに來る。お昼はボランティアの人からわけてもらう。食料はある。ゆわかしポット

があれば…。

13・45 摩耶小（東部・八島）

仕事は火の番、お湯をわかす。マキ拾い。

15・15 西郷小（暖・市川）

引きつぎ終了、みんな無事。

16・30 上野中（高校、森）

無事。

16・50 摩耶小（市・吉村）

雨ふる中、お湯をわかしています。予定より早く終る。

17・00 西郷小（大東、渡辺）

午前4・30 給水。4・30
10・00 電話受付。5・00 女性二人は、風呂の手伝いをしている。

平木中

13時市川先生 380名の避難者、

自治活動が活発になり、清掃等は自治活動の中でやられている。

他のボランティアが炊き出しを行っているので、その手伝いを大阪

教組ボランティアが手伝っている。物資配布等の手伝いも行っている。

15時15分 無事引きつぎ終了。

2月12日

上野中 森

17時頃に学校着 物資仕分け中心。

2月12日

用海小 富森

17時 特に何もなくて、仕事は無事に終った。

2月12日

平木中 森村康子

10時頃に学校着 炊き出し、物資の仕分け、トイレの消臭剤まき。

19時 物資の仕分け、たき火の管理。朝食の仕分け。

16時 ゼンセン同盟は2/12に撤収したので人数が若干少ないのと物資が届くのがおくれたので、終了時間がおくれました。

2月12日

西宮西高 塩野

10時頃に学校着 特になし。

17時 特になし。

12時 特になし。

医薬品がないとのこと。かぜ薬があつたら、回してほしい。

2月12日

西郷小 渡辺尚明

10時頃に学校着 荷物の整理、水運びなど。

13時 女性は女性用のおフロの世話、電話番号。9時以降は電話少なくなる。

ボランティアの女性が少ない。おフロの世話で大変役立つようです。

15時 全教が10人ぐらい来るが、15分ぐらいで帰って行った。

ボランティアの人数は、今のところ適当です。

2月12日

西郷小 榊田鈴子

10時20分 阪神御影駅から線路ぞいに歩く。途中から道がなくなり、四分程で、西郷小に到着。

正門前での給水が主な仕事。(足元が水びたし、長ぐつの必要性を感じる)学校は小規模だが、1100人以上の人が生活している。雰囲気は落ち着いている。

16時30分 16時30分から職員室での電話の取り継ぎ(渡辺)と風呂当番(榊田、藤原)の仕事をする(10時)。

風呂は、偶数日に白浜温泉の湯が届く。女性のボランティアが必要とのこと(この仕事は、大へんしんどかった)(9時)

子どもが少なく、年配の方が比較

的多いことに驚く。

15時30分 19時から朝食配布の手伝いをする。19時30分からは、また給水の仕事をする。昨日より手

ぎわよく。水を入れられるようになる。風呂の給水にも来られ、風呂洗いを3人が行う。

15時頃、水道が使えるようになる。トイレの使用が楽になるだろう。

2月12日

西郷小 長池、野村、古賀

11時頃到着し引継を受けました。

15時40分 大東の渡辺さん、二日目の仕事(主に給水)をおえ、帰ります。

2月12日

段上小 西村忠彦

11時30分頃に学校着

17時 昼間は六人居るが、自分で仕事を見つけてやっている。

15時 ゼンセン同盟の支援が2/19で終了予定、その後のボランティアのあり方を検討する必要があるのではないが、夜9時以降TEしも殆どない。避難者50名以下、自意識が弱い。

夜の警備等の仕事があるものの、

昼間の仕事が少ないので要検討(人数3人+3人も)

2月12日

原田中 竹村裕史

12頃に学校着 まず、タキギづくり(トラックで焼柱搬入)、物資の荷分け。

15時10分 大阪教組樋口書記長が、激励に來られた。

16時00分からの地域への物資運びは雨のため中止。明日の午前中に実施される見込み。

2月12日

福住小 川田

10時頃に学校着 水が飲料用になった。せんたく機・粉設置。

18時 炊き出し、みそ汁。

15時 特になし。

2月12日

上野中 奥河

10時30分頃に学校着

19時 衣類の仕分け。水の運搬、配布。

17時 衣類、仕分け配布。男性用下着不足、女性用は足りている。

2月12日

平木中 藤代 衛

10時頃に学校着 トイレ消臭、荷物運び。

特にこれといった仕事はないが、こまごました仕事に敏感に反応していけば良い。

18時 夕食の配給。

どの人がいろいろ決定権(指示)をもっているかを毎日の動きの中で、我々が見きわめて、流れに沿って動くスムーズな活動ができると思う。校長・教頭が夜9時頃ボランティア室に挨拶に來られた。管理者としての今後の苦悩がにじみでいたようだ。

16時 これといった仕事がなく、ぶらぶらすることも必要。そんな中で、手助けできることを見つけ、軽やかに動けるように、"観察眼"をみがくといい。又、給水車で応援に來ている人(京都府の役場の人でした)やボランティアに來ている人、焚火を囲んでいる被災された人たち:いろいろな人たちと話をすると、ずいぶん参考になることがある。

2月13日

平木小 上田、中野

10時30分頃に学校着。

2月14日

西宮西高 荒木

10時30分頃に学校着 朝・夕に急
しい。それ以外はヒマ。

17時 白い買物袋、ビニール袋・
タオルが連合から届かないので枚
教組で用意する。

2月13日

西郷小学校 長池

11時頃に学校着 水の給水。

足元がぬれるので、長グツ、カッ
パの下が必要。

17時 電話番

2月13日

段上小 柴田

13時頃に学校着 荷づくりなど、
仕事をさがしている。

2月13日

原田中 山内みどり

11時頃に学校着 昨日、雨のため
に中止になった地域への物資配布
を到着後、すぐに手伝う。

17時 夕食の準備（15時～17時30
分）野菜炒めで時間がかかる。調
味料・だしの素がないので明日物
資救援を。

15時 自治的な組織がしっかりし

ているが、ボランティア活動にな
れてくると、いろいろな仕事さが
がせるようになってきた。

2月14日

上野中 三上

10時頃に学校着 交通の便は良
くなった。梅田から1h。

17時 夕食の配布終る。

食事はあるが他の避難所に比べて
貧弱である。炊き出しを独自でや
りたい。そのための必要品を大鍋、
大型コンロを高教組で用意できな
いか。

2月15日

稗田小 佐野 土屋

約1000人の避難した人たち、
教室等全てが避難生活に使用。

子ども達は「ひえだっこ」で1
～6年生の合同授業？（作文など）。

学校再開のメドは……？ グラ

ンドも教室も使用できない状況。
任務はtee受け付け、宿直、

トラブル対応、物資搬入の手伝い
等

食欲が落ちている、子ども達の
ストレススポーツや遊びをかな
り丁寧に対応している。

卒業式は？

自衛隊によるお風呂 飲料水の
給水所。

子ども達II自宅待機か転出か。

福住小

プレハブ校舎の建設だったので、
本校舎は避難者。

プレハブで午前（低学年）と午
後（高学年）の1hずつの授業。

教室の前には文房具が全国から
たくさん。

登校時の誘導をボランティアが
行う。

摩耶小

4Fの教室「恐い」というので
空いたII二部の授業。

それ以外はローカ等全てに避難
者。

トラブル（〇〇組系の人が飲酒
で夜中に暴れる）取り押さえる、

警察に通報。

ストレスやイライラでトラブル
増加。

学校再開のメドない。トイレ
対策 水対策 炊き出し。

グラウンドでのお湯をわかす任務。
卒業生によるボランティアがう
れしい。

上野中

ファミリーKによる自治組織が
しっかりしている。

被害が少ない、中学生なので落ち
ついている。

コンロによる自炊
中3生は午後自習。

AMは3時間授業している。
昼間の盗難（不審者）

そろそろクラブをしたい
暇な時間が多い。

2月15日

福住小 組合員

今日 朝 11時頃 女性1人

夕 6時前 男性2人

全教 尼崎教組よりの指示で来
た。

福住小では、いきなり来られた
のでは、困る。泊まるつもりだろ
うが、場所もなく準備もない。と、
校長も困惑している。

大阪の東南支部からのボランテ
ィアが継続して入っているが、自
分たちも手のあくことがあるので、
他所へ行ったらどうかと、言った。

兵庫の震災本部にいる戸田氏へ
TELしずみ。他の学校でも全教の
先生が十人くらいドヤドヤと来て
何をするのか。いつのまにかいな

くなるというようなことがあると
のこと。

2月14日

用海小 門田憲仁

17時 水くみがしんどい。

偶数日にはケイビ員が宿泊。

15時 特になし。

もともと、被害の少ない地区な
ので（被災者100人が体育館に
いるだけ？）手もちぶさたの様
子です。特に、救援物資の依頼
もありません（南部）

2月14日

平木中 松風 光

10時30分頃に学校着 トイレ消臭、
被災した人の家から冷蔵庫を運
び出す。

18時 物資を荷受け、夕食配給、
気づいた所のごみ拾い、そうじ
など（やりすぎることなく）、朝
食配給準備など。

15時30分 明日、2週間ほど常駐
していた横浜からのボランティア
の女性が、帰ることになったの
で、我々、日教組のメンバーが、仕
事や要領をしつかり引きつい
でいかなければならないと
のこと。

2月14日

平木小 西村、大竹

10時頃に学校着

2月14日

西宮西高 海老池

10時30分頃に学校着 物資の仕
分け。

17時 物資の仕分け。

12時 物資の仕分け。

「パンは多いが、牛乳がない」
とのこと。連合兵庫では牛乳を扱
っていないので、明日自治会の人
と相談して、必要であったら、枚
方からもっていきます。

2月14日

西郷小 寺村

11時頃に学校着 水の給水

18時 電話番号、コーヒー、さとう
を持って来てほしい。

2月14日

段上小 北野英子

10時頃に学校着 教室、学校清掃、
荷物の運搬。

17時 教室、学校清掃、荷物の運
搬。

15時 炊き出しがなくなり、食事

については各自に用意（4食）し
たほうがいいのではないかという
報告がありました。

2月14日

原田中 高橋敏美

5時10分頃に学校着 受付にたの
みにくる人への対応、トイレ水く
み。

朝 トイレ水くみ、水まわり清掃、
古着分類。

阪神梅田（急行・40分）→阪神御
影（連絡バス・すぐに来なかった
ので30分。バスに乗っているのが
15分）→阪急御影（5分）→阪急
王子公園（歩き・20分）→原田中
学

☆バスの待ち時間、道路のこみぐ
あいにより、時間がちがうので阪
神御影から歩くのが、一番確実の
ようです。（徒歩40分）。

2月15日

福住小 紀戸

10時頃に学校着

2月15日

上野中 山下

10時頃に学校着 避難所と思えぬ

ほど落ち着いている。
待機時間多し、シャワーも出るよ
うになった。

待機時間に南の方、市教組の受付
の避難所へ行ってみた。ここは忙
しそうであった。

2月15日

用海小 根来 靖

15時頃に学校着

18時 ゼンセンの方と夜話しがで
きたので、ボランティアのことや
用海小学校の様子を詳しく知るこ
とが出来た。

母親が亡くなって、父と長男が
喧嘩して長男が出ていってしまっ
た家族の一番下の2才4ヶ月の子
どもを誰も見てくれないので、少
しかかわった。明日の参加者がそ
の子の服を持っていく段取りにな
っている。あと、ほうれん草が必
要ということなので、事務局に頼
んで、土曜日到着の段取りで送っ
てもらうことになった。

ゼンセンのメンバーが19日（日）
から後、引き揚げてしまうので、
後どうするか心配である。おそら
く教育復興促進ボランティアにそ
の分もかかってくると予想される

ので、来週から大変急がしい活動になると思う。

2月15日

平木中 田淵浩昭

10時30分頃に学校着 食料の仕分け、物資の搬入、トイレの消臭。

18時 食料の配給。朝食の仕分け、物資の搬入。お手製の弁当をたくさんもってきてあげたら。缶詰の段ボールがかなり重いので女性は大変そう。

15時30分 マジックもう一式。カッターナイフあったら重宝。

2月15日

平木小 増田、山崎

10時頃に学校着

平木小学校情報

体だけでなく口まで出して、「自治を被災者の中に」と呼びかけ、少々緊張が走った平木小ですが。別紙の通りうまくいきそうです。

2/13、2/14にボランティア、住民代表、校長の話し合い。

2/15に体育館の図面割りまで終わりました。

2/16に被災者に話しをして、2/17に体育館内での確認をする予定。

定。

●トイレの水くみ等も少しずつボランティア以外の人の参加者も増えてきました。

ご心配をおかけしました。

体育館に避難しておられる皆様へ

皆様へ

平木小学校長 片山孝之

平木小ボランティア一同

よりよい避難所に

昨日の夜八時から、避難所の皆さんが仲良く、助け合っていて、ボランティアといっしょに、よりよい避難所のくらしになることを目的に、話し合いをもちました。

そのなかで、次の様な課題や活発な意見が出ました。

1、自分たちで便所の水汲みや清掃をしてはどうか。

2、自分たちで炊き出しをしたい。

3、配給の方法を工夫したらどうか。

4、食事の内容をもっとよいものにしてほしい。

5、スリッパで便所に行つてそのまま館内に入る人がいる。

6、館内で煙草を吸うのでよいに空気が悪くなる。

7、ペットを館内で飼っている人がいる。

など、そして、これらの問題を解決していくためにも、体育館に避難している皆さんを、いくつかの班に分けてはどうかという問題提起を確認して終わりました。

しかし、20家族ほどの人数であつたことや時間もなかったので、具体的な話にまで進めませんでした。そこで、下記の要領で再び話し合いをもつことになりました。どの家庭からでも出席いただきますよう、お願いします。

記

1、日時 2月14日(火)

午後8時～9時

2、場所 南館三階

音楽室

出席いただくのは、各ご家庭の代表者(代表者が不在のときは代理の方)です。今後の避難所としてのあり方を、また、皆さん自身の問題を決めますので、ぜひご出席下さい。

よりよい避難所に(2)

一昨日と昨日の夜、体育館に避難しておられる各ご家庭の代表の皆さんとよりよい避難所のくらしになるを目的に、話し合いをもち、次のことが決まりました。

体育館に避難している皆さんを班(グループ)に分ける。そして、体育館内に通路をつくる。

班分けの原則

1、一つの班(グループ)の人数は、ほぼ20～25人程度にする。

2、家族単位、なかよしグループを基本として分ける。

3、班(グループ)毎にテープなどで線引をする。

4、線引のときに通路をつけ、さらに館内に余白のスペースを設ける。

5、班(グループ)の代表者を決める。

今後は、体育館のなかでの課題は体育館の代表者とボランティアとで考え、避難所全体のことについては、体育館・教室・運動場の代表者とボランティアとで考えていきま

よう。そして、仲良く、助け合って、ボランティアと一緒に
なって、よりよい避難所
にしていきましょう。

なお、13日(月)の会
で出された課題や意見は次の
ようでした。

- 1、自分たちで便所の水汲み
や清掃をしてはどうか。
- 2、自分たちで炊き出しをし
たい。
- 3、配給の方法を工夫したら
どうか。
- 4、食事の内容をもっとよい
ものにしてほしい
- 5、スリッパで便所に行って
そのまま館内に入る人がい
る。
- 6、館内で煙草を吸うのでよ
けいに空気が悪くなる。
- 7、ペットを館内で飼ってい
る人がいる。 など。

2月15日

西宮西高 多田

11時頃に学校着

2/17、牛乳をもっていけます。
2000CCを1000本。

午前10時、枚教組組合員、二名と
共に、西宮西高校に到着、学校近
くの様子を見がてら、大津市と島
根県からの炊き出しボランティア
のポスターを貼りに回る。地面の
あちこちに割れ目が生じていて驚
く。レンガ造りの酒蔵も倒壊して
いた。12時に前日からのメンバ
ーと引き継ぐ。昼食の準備等、避難
している方の方のほとんどのことは、
自治会が運営されていて、ボラン
ティアは裏方に徹する。しかし、
五目メシの缶のフタを小さい缶切
りで開けるなど、細かい気配りも
我々の仕事である。1000人弱と
小規模な避難所でもあり、落ち着
いた様子だが、年輩の方など、ず
い分疲れた表情の方もいて、胸が
痛む。ボランティアには得るとこ
ろがあるが、避難している人には、
行くところがない。地震後一カ月
経て、援助物資も、必要な品は不
足し、必要なものが余るという
状態が強くなってきている。下着、
服、タオル、嗜好品等、生活にと
って当たり前のものが大量に要る。
長期的な援助が必要だと痛感した。

2月15日

西郷小 濱田博美

10時30分頃に学校着 給水作業

18時 電話

14時30分 学校で水が出る状態
(ただし一斉に使うと問題なので
現在バルブをしめている)となっ
た。

2月15日

段上小 溝口

10時頃に学校着

17時 食料が底をつくことへのト
ラブルが多い。

段上小 丸岡

1、食料についての状況変化

(1)2月6日(月)〜13日(月)

①ゼンセン同盟のボランティア部
隊の炊き出しが行われていた。

●パン、おにぎり、牛乳、弁当な
どの基本的な救援物資にプラスし
て、炊き出しの品が一本出る状
況で、3食とも比較的豊富な食
料

●プラス一品の炊き出しがあるの
で地域の方が食べにきていた。

②救援物資(行政)の他、吉野屋
の牛丼500食、ホテルのハヤシ
ライス300食などというような
民間の救援物資が届いていた。

●夜に放送で地域に届いた物資を

紹介する

●地域の方が学校へ食べにくる

③その他、カップラーメンなどの
物資が比較的豊富にあった。

④避難している人々、地域の人々
は、炊き出しと救援物資に頼って
いた。

(2)2月13日(月)〜現在

①ゼンセン同盟のボランティア部
隊が撤収した。

●炊き出しの終了

●基本的な救援物資しかない

②救援物資は避難している五人分
しか届かない。

●地域の方が学校へきてもわかる
ものが無い

●地域の人々と避難所との待遇に
不平等感↓言い争いへと発展

③家庭科室に調理器具や食器をそ
ろえ、自立の方向へ

●調理する材料の不足(米などは
あるものの、野菜などの副食が
ない)

●材料を買うにもお金がない↓避
難所内でも不満が高まっている

(3)派遣者(組合員)の感想

①地域と避難所の言い争いや、
避難している人々の不満の高まり
にとまどい

②問題の深刻さに口をはさめな

い複雑な心境

③このままいけば、やがてストックの食料が底をつくだろうという予想のもとに、何とかできないものかという気持ちはあるがどうにもできないという心苦しさ

2月15日

原田中 江見和枝

10時頃に学校着 雑用、受付。

さがせば仕事はあるけど、あまりやりすぎるのも考えものだし、普通の授業のある日は、2人くらいでもいいと思う。土、日とか行事がある時は、多少多くなってもいいと思うが……。

2月15日

原田中 犬塚充子

17時頃に学校着 受付業務、夕食の準備。

17時 夕食の準備、トイレの水くみ、受付。 電話番号。

17時 自治的組織をどうサポートするのか。

教組として論議する必要がある。

2月16日

上野中 佐伯

10時頃に学校着 特になし。仕事

を見付けてやっている。現地炊き出し体制準備のために大鍋一つ搬入。

17時 夕食の配布完了。

2月16日

用海小 池上

2時30分頃に学校着

18時 できれば長期滞在の人をつくる事ができればBEST

2月16日

平木中 上田よしみ

10時30分 夕食の搬入、物資の仕分け。

19時 夕食の準備。ペットボトルの水3本、きゅうすい(1個)

15時30分 今から解散します。ペットボトルはもつてきていただきたいのですが、きゅうすいがあればとおもいます。

2月16日

西宮西高 辻本

11時頃に学校着 特になし。

17時 特になし。

12時 特になし。

本日、牛乳二百本搬入。

枚方市教職員組合

被災者救援のため、バスタオル等の提供について

枚教組は、2月6日から、毎日3名のボランティアを西宮西高校へ派遣しています。

参加された組合員から、

「救援物資はたくさんあるが、被災者のニーズに対応できない物が多い」との指摘があり、執行部は、必要物資を連日ボランティアに託してもつていってもらっています。

現在、現地ではタオルが足りないとのことですので、自宅にあつたら、書記局へお願いします。

必要物資

- バスタオル、およびタオル
- インスタントコーヒー
- インスタントコーヒークリーム
- スティックシュガー

搬入方法

- 分会で訴えてもらって、21日の拡大闘争委員会にもつてきてください。

救援カンパ

一、六五〇、九四〇円
全額大阪教組へ納入。大阪教組から日教組へ。

日教組が兵庫県へ一億円カンパ

■救援のため枚教組が支払った金額(二月一七日現在)

- 転入児童・生徒の文具見舞い 一四一、八二七円
- 被災地関係
- ボランティア派遣のための雑貨購入三四、九二〇円
- (寝袋、軍手、マスク、ヘルメットなど)
- ・被災地への雑貨等 七三、三六二円
- (薬品、食料、コンロ、その他)
- 豊中教組への支援 七九、八九五円
- (コンロ・ガスボンベ)
- 枚方市へ転入した被災者へのお見舞い 二〇〇、〇〇〇円
- (入居住宅へ蛍光灯等の購入費)
- 被災地居住組合員へのお見舞い 九〇、〇〇〇円

合計 六二〇、〇〇四円

2月16日

西郷小 中島善昭

10時頃に学校着 水の給水

18時 電話番

15時 水道水が出るようになった。ただ、まわりから飲料水を取りに来ている。

2月17日

西郷小 岩出

10時30分頃に学校着 給水

17時30分 給水、17時よりTEL担当。明日担当者TELする予定。

2月16日

原田中 西山礼司

17時頃に学校着 受付の手伝い。

17日 物資搬入手伝い、まき割りのための木材をのこぎりで切る。三階のトイレへ水を運ぶ。救援物資の手伝い。

18時 電気のごきりみたいなのがあれば便利。

2月16日

段上小 藤井一臣

10時30分 連絡、荷物運び等の仕事。ゼンセンのボランティアが近々に引き上げる予定。3月初めにプレハブ教室が完成する予定なので、

又、忙しくなるのではないかとと思う。約50名位の避難者。食事は四食分自分で用意する必要。組合として行う意義を実感できた。

2月17日

福住小 井上

16時 教室の移動とそうじが仕事と加わる。ボンベも増えてきたがいくらあってもよい。

カップラーメン不足(昼食用)

映画会 子・大両方対象(1回60名程度)大好評!!

2月17日

上野中 池嶋

10時頃に学校着 清掃。

17時 夕食の配布。覚悟していたより楽な1日であった。

追加報告

16、17日参加者から帰阪後TELあり。

。17日正午、校舎屋上に「日の丸」

半旗が掲揚されたのに驚いた。

ちなみに、この人の職場は卒業・入学式共日の丸を掲揚させていない。

。校長サンの説明に疑問を感じる

点があった。

(例)

「他の避難所では、大阪からホームレスの人が入りこみ困っている様です」etc

2月17日

平木中 杉橋克己

10時30分頃に学校着 引きつぎ・物資つみおろし・配給・たこやき等の手伝い。

18時 トイレ手洗いタンクの水入れ・物資搬入・たき火の番・食事配り、自転車どけて下さいのピラはり・朝食のパンの袋づめ、明日くる人：きゆうすB班の人がもってきた(1、2ケ)もってきてほしい。

2月17日

平木中 中山

10時頃に学校着

19時 体育館内のパーティーションが移りました。少しトラブルがありました。OKです。

2月18日

西郷小 木下

・電話番と聞いていたが、すでに九州方面から来られたボランティア

アが担当しているので、水関係の仕事を手伝う。

14時45分 引きつぎおわりました。(門真・岩出さん)

17時30分 玄関先での給水の作業は終わりました。明日からはこの仕事はなくなります。(詳しくは夜のうちあわせによる)とりあえず、みんな元気です。

2月18日

上野中 玉本

10時頃に学校着

17時 夕刻(もちつき大会、ぜんざい炊き出しの準備)

2月18日

用海小 岩光公

18時 夕刻

15時 ゼンセン同盟が19(日)午後、撤退する。今後のことで学校を含めて打合せが必要。

2月18日

平木中 山中猛司

10時頃に学校着 引き継ぎ飲料水、トイレ水運び。

19時 物資搬入・食料の仕分け
15時 特になし

2月19日

西郷小 梅田

子ども下着、くつ下、パンツ
余震、今朝2回

2月19日

上野中 浅野

17時 洗濯機30台搬入、洗濯ボラ
ンティア日

2月19日

平木中 畑 賢三

13時頃に学校着 トイレそうじ、
物資の運搬

18時 夕食、朝食配布準備、明日
の学校授業にそなえランドそう
じ。ボランティア4人するので
大変忙しかった。

15時 夕食配布の弁当が配ってい
て足りなくなる時は、あとから来
た人にはあたらなくてかわいそう
だった。

2月19日～20日

西郷小 梅田 義治

9時頃に学校着 阪神御影駅から
徒歩40分 水道が使えます 見回
り、ゴミ集め、分別灰のしまつ、
援助物資の運びこみ
子ども用くつ下、下着が全くない

↓本部に言えば出してもらえる

基本的なことは、引き継ぎで伝わ
るが、あとは3人で計画的に仕事
を考える。

17時 電話のとりつぎ(1人↓電
話うけ、1人↓名簿さがし、1人
↓連絡へ走る)分担

21時リーダー会議。

20日 登校日、二回目の散髪の事
務、トイレ掃除、ゴミ収集

15時 朝のひきつぎは、ノートの
説明と歩いている人の仕事の場所
をいっしょにまわってこまかくし
た方がよい 中でのこまごました
支援は、大分体制ができていたが、
校舎まわりの危険箇所が手に入っ
ていないところがある せっかく
ゴミを分別しているのに、パッカ
ー車はいっしょくたにもっていった。

2月20日

上野中 塩川

10時30分頃に学校着 洗濯ボラ
ンティアの世話 中学生や、小学
生も手伝う。

17時 物干場(校庭)の設営 肉
体労働が多い日

2月21日

平木中 西

物資運搬

17時 食事の準備、物資運搬

2月20日

用海小 羽山 彰

21時 ゼンセン同盟は撤収。不十
分だが水が出はじめた。1～2日
うちには、完全復旧する見込み
避難者へるかもしれない。

16時 ゼンセン同盟が主にやって
いた、炊き出し(材料は市から、
仕切っているのは住民の方)の手
伝いを代わりにきた自治労連(愛
知?)がやっている。3人↓2人
でもよいのではないか。

2月20日

平木中 草野 洋和

10時頃に学校着 物資の運搬、ト
イレ掃除

18時 ダンボールの回収、夕食、
朝食の用意、物資運搬

15時 20日から給食開始
↓ABC「ニュースステーション」
で平木小学校での給食風景がとり
あげられていた。

2月20日

西郷小 平尾

10時30分頃に学校着 サンパツの

手伝い、物資配り

17時30分 電話

15時 22日もおふろがあるかもし
れない、20日は高校生4人のボラ
ンティア(女性のおふろ)があつ
た。

2月20日

段上小 梶谷

13時頃に学校着

2月20日

原田中 栗嶋 伸介

17時 トイレ水くみ、食事支度、
配布、マキ割

被災者の人々からミカンを頂いた。

2月21日

上野中 藤川

10時30分頃に学校着 洗濯場、物
干場の設営

2月21日

用海小 柏木

15時頃に学校着

19時 トイレの水汲み運搬 夕食
の炊き出し手伝い
ついに水道が復旧した。
18時 夜はやや寒い。

水道が復旧したので、昼間の我々の仕事であるトイレの水汲み運搬の必要がなくなった。

2月21日

西郷小 大西

10時30分頃に学校着 学用品の分配

16時30分 ゴミの焼却、夕食分配

電話当番17時

15時 特になし

2月21日

原田中 辻本しづ子

10時30分頃に学校着 水運び、昼食仕分け等

夕食のたき出し準備、仕分け、水運び等

18時 食器洗いの洗剤が不足しているようでした。

2月22日

上野中 谷

10時30分頃に学校着

17時 色々な仕事がある、夕食の配布は終わった。

2月22日

用海小 高橋 勝代

21時 あまりないので調子ぬけ。

16時 ゼンセン同盟がぬけたあと、炊き出しの仕事が分担が決まっていなかったようで、手伝わたらよろこばれた。引き継ぎのあと、不謹慎だが、東灘区、灘区まで足をのばしてみるつもりです。

2月22日

西郷小 北山

10時30分頃に学校着 夕食搬入
風呂が偶数日↓奇数日に変更され
たらしい。

17時 夕食配布終了

15時 夜は風呂当番

2月22日

段上小 伊東 利幸

13時頃に学校着

17時 いっしょに行く人は待ちあ
わせた方がよいのでは。

日教組対策本部 大阪教組↓兵庫
県教組

昼〇七〇・二三四・九四五一

夜〇三〇・三三八・四六〇四

FAX 〇七八・二四一・九四六一

2月22日～23日

原田中 石川 正三

17時頃に学校着 夕食配り、受付

23日 まきわり、水くみ。

11時交代

2月23日

上野中 藤下

10時30分頃に学校着 避難者30
0人程度に減

17時 物資の区分け、夕食の配布
終了

2月23日

用海小 山本

15時頃に学校着

19時 トイレの水汲み運搬、夕食
の炊き出し手伝い

水道復旧していたが、また断水し
た。

18時 女性2名参加で、料理の手
伝いを全面的におこなうことが出
来た。

昨日の単代の件ですが、ボラは
一般組合員に公募しているので、
参加後生徒集会や児童朝礼等で報
告をしている組合員も多く、(貝
塚)学校長にも喜ばれている。で
きれば3月5日以降も継続して活
動したい。執行部以外は、選挙活
動とはメンバーが重ならないので、
出来れば、責任単組としての回数
を少なくしていただいて、派遣人

数も少なくしていただければあり
がたいです。

2月23日

平木中 末永 純一

10時30分頃に学校着 自立してい
るように感じる。

17時 食事の配給

このあと夜はすることがないよう
自治会的にできていて仕分けを適
当にするぐらいです。

15時30分 引き継ぎ終了

だいたい仕事の内容がたまっている
今日は物資の整理の一部、明日も
つづきをする予定。

2月23日

平木小 下村八重子

9時半頃に学校着 リヤカーでの
外回りのとき、ビニールの買い物
袋を、30ほどもっていったが、数
がもっと多いほどよい。

18時30分 夕方18:30停電↓念の
ため懐中電灯がやっぱりあった方
が良い。不安になって、学校に避
難してくる人あり。

夕方の食料配布

外から取りに来る人の登録をカー
ド方式に切り替えたらということ
で、カードをそろえて欲しいとの

要請が動員者からあり。

クラスの子どもの作文を持っていった。朝鮮人の子の（本名を名乗った）作文も入っている。学校の先生に渡しておいた。（一方通行になるけれど、もっていったら良いのでは？と、頼んでおいた。理由は、返事を書かす時間がとりにくい）

2月23日

西郷小 北橋

10時30分頃に学校着 準備室を教室として使えるようにする。

16時30分 おふろの手伝い

2月24日

上野中 中村

10時30分頃に学校着

17時 待機時間多し

上野中独自の炊き出し体制を確立され、週1〜2回高教組の財政援助を要請する。

神戸救援ボランティア参加報告書

きびしい状況の中、ボランティア活動参加・協力本当にありがとうございます。現地

での活動が私たちと同じ仲間にとって単なる活動だけでなく、大きな精神的支えとなるのではないかと思います。

ボランティア活動はすでに連絡しておりますように、かなり長期にわたってくるものと思われまふ。そこで次に参加して下さる方へのつなぎになると思いますので、お疲れのところ申し訳ないのですが、下記のアンケートと感想を至急執行部までお知らせ下さい。（*感想は少々時間がかかっていかまいせん。アンケートはなるべく帰られた日、または、翌日に届けていただくとうがたいです。）

・名前 〆辻 信義〆

・ボランティア参加の扱い（年休 職免 その他）

・参加を申し出たときの管理職の反応

御苦労さまです、頑張つて下さい、と即答された。

・ボランティア活動校

学校名（平木中学校）

住所わかれば

（西宮市平木町六一一九）

TELわかれば

（〇七九八一六五一四五〇〇）

・行った先での主な活動

○避難されている人々600人（屋内200人・校庭及び校区400人）の食料の種分けと配給【朝食パン三個、バター・ジャム×2人分の袋づめ、夕食幕の内弁当とお茶（缶）その他を一日一回5時30分に配る。私たちは400人分を体育館前で配る】

○生活用水の運搬・汲みかえ【給湯室の水タンクをはじめトイレ後の手洗い用等の水タンク、洗面用具タンク、屋内トイレの水洗用水タンク・パケツなどの水まわりいっさいの運営】

○掃除・物資運搬・その他思いつくことなんでも

・行った学校の様子 平木中学校生徒数600名【同推校比率15%在日朝鮮人生徒も多い】

○隣接して阪神朝鮮初級学校あり、ここにもボランティアが入っています

校区の被災の様子を見に回ったが、木造建築で古いもの

は、ことごとく大きな被害を受けていて、私の想像を上回っていた、中二女子生徒3人から話を聞いたが、クラスにも、犠牲者が出たこと、自身助かったのが不思議だったこと等、そのときの状況は、すさまじかった。現在、外見は、平然として黙々と避難生活に耐えているようだ。焚火にあたりにくる老人たちが、ぼつりぼつりと、あの時のことが蘇り、語りかけています。胸が締めつけられます。

各方面からのボランティアの人々が縦横に出入りし、本気で真剣で張りつめて、生き生きと動いています。心を打ちます。夜、校長・教頭・現場教師・教委担当者、PTAの担当者・ボランティア青年と語り合いました。校長をはじめ現場教師の活動とその姿勢に感動しました。地域の人々は、学校に大きく感謝しています。

・参加に必要な物として教組で示した物以外で、あれば良いと思う物、また、必要と示していたが不要だと思われる

物があれば書いて下さい。

豊教組として段どりされたい。
。ガスコンロのボンベが決定的に足りません。いくつあっても足りません。救援組織にも至急に送ってもらうようにボランティア本部は頼んでいるのですが、現在は届いていません。

。娯楽室が殺風景です(テレビ一台、各種の本だけ)ビデオデッキとアニメーション等子ども用ビデオ、CDラジカセット、各種音楽テープやCDなど。

・時間(わかる範囲でいいです) (一日目) 自宅発(8時30分)——現地着(10時00分)(二日目) 活動開始(8時00分)——次の参加者到着(10時00分)——活動終了(4時00分)

・その他、特に何かあれば

福中さんが、本部倉庫への二段の階段に、とび箱の木材で、立派なスロープを作った。福中さんにたのまれ、その補強をした。カッターナイフ、ドライバー、かなづち、ペンチ、ビニールテープ、ガムテ

ープなどが役立った。ポリタンクは水が入ると重いので、老人には動かすことがムリ、水を小分けにするのにひしゃくが必要。ひしゃくは、ゴミ捨て場からほうきの柄をひろってきて、ペットボトルの下半分をきりととり、穴をあけビニールテープで固定して4つばかり教組の仲間と共につくった。

・自分たちの現場での食事はどうでしたか。

おにぎりが一番必要だ。それも多量に、本部のボランティアの人々や平木中の教職員とともに、夜おにぎりをほおばることができた。その場が同時に種々な話の交流の場となり、何よりも貴い。

・必要経費(約電車賃約1500円)

十三まわりの阪急は早い。帰りは宝塚まわり(西宮→門戸厄神→甲東園路線の被害に驚く)

。自分の体調

前夜おにぎりをにぎって寝たのが3時、起床6時半、寝不足だったが、現場へ着くと、

その状況から興奮し、寝不足はふっとんだ、夜は木工室なので寒いかと思っていたら、フトンもあり暖房もあり、大きないびきで熟睡した。

池田教組の西さんが水の入ったポリタンクを運んでいる途中、ギックリ腰で倒れた。医者へつれていってもらい痛みはほほとれたが、水タンクは重いので注意して下さい。

。電話連絡(所属校へ○回、組合へ一回、TELした)

・その他、特に次に参加する人への注意などがあれば書いて下さい。

24日の夜7時、平木中の卒業生と10人のメンバーでクラリネットアンサンブルのコンサートが、木工室で行われる。せまい部屋でのコンサートだが、セッティングなど、心をつくしてバックアップされた。その卒業生自身自宅全壊、その中からの立ちあがりから拍手を贈りたい。

修学旅行が実現するか、しなやか(2年団森岡先生からの話)

現中二の修学旅行はスキー

4月、すでに480000円の積み立ては完了。しかし、経済的に可能か、又、若干の避難のため疎開した子がかえってこられるか、気持ちいが修学旅行に向くか等種々の課題をかかえて、21日夜、2年学年PTAがもたれた。体育館に避難している親3人がぜびつれていってください、との声に動かされ実現の方向へ。

2月24日

平木中 丸山卓郎

10時頃に学校着 救援物資の仕分け、給水車からの水はこび、etc.

18時 夕食仕分け、肌着等わけクラリネット演奏会があり、会場準備や片付け

16時 物資や会場づくり等結構忙しかった。

2月24日

西郷小 増田 清志

10時頃に学校着 授業再開にあわせて、教室の整備

19時 夕食配膳作業・電話の取りつき

15時 27日から6教室で授業再開

予定 被災者は900名に少し減る。

2月25日

上野中 岩城

10時30分頃に学校着

17時 (明日のもちつき大会、ぜんざい、炊き出し)の準備

(別途報告)

高教組 鎌田

26日11時 上野中訪問

・加藤校長に挨拶

・キンリンボランティア責任者

植村、南岡氏に挨拶、自主炊き

出し(3月12日)週1〜2回、汁

物中心の費用分担について打合せ。

三氏より派遣ボランティアの活動

について、過分の感謝と賞賛の言

葉を頂く、5日以後の編成変更に

ついては心よく了解さる。

↓帰路

稗田小学校より6日以後派遣予定地

の確認

・市教組、藤谷氏より業務内容の

説明を受く。

現在避難民1066人、少しづつ

減じている。夜間不寝番体制3〜

4時間交替

自衛隊救護所併置、等々

有数の大規模避難所であると見受けられた。

2月25日

西郷小 福本 弘

9時30分頃に学校着 ゴミ焼却、

風呂の給水、食事準備

17時 食事配給、電話とりつき、

風呂給水(足湯)、トイレそうじ、

入浴補助、風呂そうじ。

15時 大阪教組の活動内容が明確

にひきつぐ必要がある。実態に応

じた仕事内容のひきつぎがあいま

いな部分が出てきている。

2月25日

用海小 山本康志

15時頃に学校着

17時 夕食の炊き出し手伝い

18時 水道が出るので助かる。

2月26日

平木中 大上一枝

17時 引き継ぎ、便所消臭作業、

夕食・朝食仕分け

2月26日

原田中 池田隆行

10時頃に学校着 受付けの補助、

水くみ(トイレ用)・湯わかし。

被災者の方の細かな相談について充分に対応できなかった。

2月26日

上野中 高辻

10時30分頃に学校着 もちつき大

会(ぜんざい、豚汁)炊き出しの

手伝い

17時 本日は待機多し

2月26日

用海小 松川信一

18時 特になし

15時 仕事が少ない、3月5日終

了でよいと思う。

2月26日

平木中 大上一枝

10時00分頃に学校着 掃除、給水、

生活用品の分配、炊き出し等

15時 引き継ぎ完了

2月26日

西郷小 平野

15時 物資運搬、サンパツかたず

け、教室の油ふき、トイレそうじ。

2月27日

上野中 三木

10時30分頃に学校着 待機時間多

し

2月27日

上野中 三木

10時30分頃に学校着 待機時間多

し

17時 夕食の配布完了

15時 風呂場の清掃

2月27日

用海小 平木(堺)

15時頃に学校着 異常無し

19時 夕食の炊き出し手伝い

18時 27日に愛知からのボランテ

ィア部隊が撤収し、28日にも減つ

たので今後の日教組ボランティア

に対する仕事量が増えると思さ

れる。28日の仕事量は多かった。

他のボランティアも我々と同じ

く、ライフラインの復旧が早く、

避難人数も少ない用海小学校から

撤収する方向にある。

本部から当該校とリーダーの坂

本さんと、正式に3月5日撤退

の方向を合意形成していただける

とありがたい。

2月27日

西郷小 大原

10時頃に学校着 学校が再開され、

授業が午前、午後とも行われた。

17時 風呂の手伝い、電話番号。女の人の手伝いがほしい。

2月27日

原田中 簡井豊

17時頃に学校着 夕食の弁当配布、あまり勝手に判断して行動をしてはいけない。

7時 トイレへの水くみ、まき割り、朝食のパンの配布等。救援物資はある程度豊富にあり、トラックで持ってきて返している状態。
12時 そろそろ仕事を覚えた頃に解散する。仕事は自分で見つけなくては意味がない。

2月28日

上野中 小林

10時30分に学校着 風呂の清掃
17時 本日より自主炊き出し、高教組の財政、援助した、開始、筑前煮、350食
19時 物資の区分け

2月28日

用海小 山岡

17時頃に学校着

2月28日

西郷小 小林

13時00分頃に学校着 物資搬入、ゴミ拾い、電話番号

3月1日

上野中 大賀

10時30分頃に学校着 物資の仕分け
17時 夕食配布

3月1日

平木中 福井歩

10時頃に学校着 雑務
18時 食事の仕分け、ゴミ場片付け
15時 特になし

3月1日

平木中 河原和之

9時頃に学校着
17時45分 食事の配布、リヤカーでの地域配布きょうからなし、PM8時から教室に被災している人の班わけ
17時 そろそろ用事もなくなってきました。

3月1日

西郷小 岩崎泰司

10時頃に学校着 校内・校外みまわり、ゴミ焼却、救援の文房具整

理。引き継ぎの段階で2日間のおもな計画をたてる。

17時 電話番号、おふろの世話、九時よりリーダー会議、以外と電話数は少なかった。落語鑑賞があったが客は少なかった。

15時 朝7時、9時電話番号、玄関の書籍がちらばっていたので整理する。他のボランティアと相談し、日曜日。あまっている衣類をみてもらうのにハンガーを用意、次の組にお願いする。

3月1日

原田中 安木 恵

16時30分頃に学校着 受付、トイレの水くみ、夕食手渡し、特になし
9時 受付、トイレの水くみ、朝食手渡し、マキづくり。特になし。
18時 特になし。

※引き継ぎ者の遅刻は問題！ 特に昨日の場合は一名欠席という状況の中だったので、前任者が残らざるをえなかった。時間は守ろう！ 現地の人々は見も知らぬよそ者を暖かく迎え入れて下さり、帰り時も手厚い感謝の言葉をかけて頂きました。貴重な体験をさせてもらいました。(こういうことは

経験した方がよいのですが…)

3月2日

上野中 高野

10時30分頃に学校着
17時 炊き出し、豚汁の準備

3月2日

用海小 谷口孝

16時 いろいろ。
17時 昨夜、他のボランティアの方や被災された方々の代表者などと話し、ことの深刻さにもかかわらず、精一杯前向きに物事をすすめておられることに感動した。

3月2日

西郷小 矢倉重明

10時頃に学校着 トイレのそうじ、ゴミの焼却。
17時 電話番号、5日の日に、衣類の展示を行うので、ハンガーが欲しい。

3月3日

原田中 福田・井上

10時頃に学校着 朝食・昼食配給、夕食物資搬入手伝い、階段掃除、全体として人の出入りも少なく落ち着いている。

18時 小雨の中地域へ救援物資を配る、お手伝いをして大変だったが、地域の方が大変喜ばれていて嬉しかった。

3月3日

上野中 宮本

10時30分頃に学校着

17時 夕食配布、物資区分け。

15時 本日の竹の子とわかめの独自の炊き出し準備

3月3日

用海小 高見

15時頃に学校着 高見は参観授業のための遅刻

19時 夕食の炊き出し手伝い、トイレ掃除など

18時 3月4日(土)泉州プロックは完全撤退した。

学校の横にマンションがあり、その住民が弁当の数を学校に頼んで、学校は被災者に相談はなく70食という数を報告した。学校とトラブルが起りかけていたが、被災者の方で押さえたので、大きな問題にならなかった。

3日は、読売新聞が取材、5日(日)版に掲載された。

4日朝は、ついに体育館を引き

払い、3階の視聴覚室へ引っ越した。大変忙しく、荷物運びもえらかった。

ポンゴのバッテリーを積み替え、大々的な見送りをしてもらって帰路についた。約180名の大阪教組ボラ参加者のおそらく全員が「もう2・3日いたい」と思ったであろう、よい体験と教えられ触発されることの多かったとくみだった。

ただし、学校のあり方については考えさせられることの多い避難所だった。「また難民食、食いにおいで」「また遊びに来ます」といつて別れた。

3月4日

上野中 妻木

10時30分頃に学校着

17時 炊き出しで忙し、明日も外部ボランティアの炊き出しある予定。

14時 佐賀県教組に引き継ぎ完了、上野中での行動終了。

3月4日

平木中 越智

10時頃に学校着 食事、物資仕分け。

18時 夕、朝食用意。土、日はかなり物資が入って忙しい。

16時 滋賀県教組チームへ引き継ぐ。箕面、前田委員長、代表してあいさつに。

3月5日

西郷小 西村春子

12時頃に学校着

17時 電話番号が市教委が来たる九(五時以外の朝晩になった。

3月5日

稗田小 森

12時上野中集合、佐賀県(公文氏)教組と引き継ぎ完了13時、稗田小へ移動。市教組(藤岡氏)と引き継ぎ、14時30分公務に入る。

20時 電話の受け、呼び出し等の放送、夜間、急病患者に備えて4時間の交替、不寝番。

15時 日中の仕事はさして多くなし。

3月6日

稗田小 森

13時頃に学校着 昼間は暇。

17時 夕食よりTEL多く忙しくなる。

3月6日

西郷小 西山かよ

16時 以前よりかなりよくなっている。現地の教職員も雑用が少なくなり、仕事にもどって来ている。

3月7日

稗田小 勝部

13時頃に学校着 本日はTEL

3月8日

稗田小 池嶋

13時00分頃に学校着 TEL多し。

3月9日

稗田小 山下

13時頃に学校着 この日南大阪支部、窪田氏参加4名となる。

17時 4名

3月10日

稗田小 近藤

13時頃に学校着 本日4名

17時 市教組南大阪支部の炊き出し30人、ゼンザイ(昼)豚汁(夕)

3月11日

稗田小 八木

13時頃に学校着 風強いけれど温、本日の定時連絡はこちら(大阪)

からすること、連絡する。

3月12日

竹田

3月13日朝10時30分連絡あり、特
に変わったことない。

3月12日

稗田小 宮本

16時00分森さんこちら出発、15時
00分にTELしたら誰も居ず。
18時 森さん到着、特になし。

3月13日

稗田小 立間

13時頃に学校着

3月14日

稗田小 成山

17時 交替用員遅れる。

3月16日

稗田小 清水

13時頃に学校着

15時 日教組本部の現地視察団来
校、4月以後のボランティア継続
について質問あり。

3月17日

稗田小 大沢

13時頃に学校着 特になし。

17時 特になし。

15時 特になし。

3月18日

稗田小 滝本、富井

13時頃に学校着 本日各種炊き出
しあり。

3月19日

西郷小 矢崎万里子

12時 電話、朝食配膳、トイレ掃
除。

16時30分 かわったこと特になし。

3月19日

稗田小 間

13時頃に学校着

3月20日

稗田小 毛藤

13時頃に学校着

15時 連合から本を寄贈（日教組
から）、アポなしで送られてもト
ラブル。本日、ブーニン・コンサ
ートあり。

3月21日

稗田小 河田

13時頃に学校着 特になし。

17時 特になし。

15時 特になし。

3月22日

稗田小 中尾

13時頃に学校着

3月23日

稗田小 角

13時頃に学校着

3月24日

稗田小 三浦

13時頃に学校着

17時 日教組現地調査団来たる。
四月以後の見通しを問わが、判
断不能。

3月25日

稗田小 稲岡

13時頃に学校着

3月26日

稗田小 中田

13時頃に学校着 2時30分電話あ
り、3人来た
14時 交代の人が来たので終了し
ます。

3月27日

稗田小 植田

3月28日

稗田小 大門

13時頃に学校着
19時30分

3月25日

稗田小 広岡

13時頃に学校着
本日森執行委員配置、あいさつ
と引き上げ打合せ。

3月29日

西郷小 初井、田中、古田、

味生小

10時30頃に学校着 10時30分引き
継ぎ、10時30分～17時00分電話番
昼食搬入、郵便配達、牛乳、ジュ
ース搬入、680人もの避難者で
おどろかされた。

17時 四時過ぎ泊まりの人との引
き継ぎ、夕食の弁当配り、朝から
あまり動いてなかったので弁当配
りで少し働いたかなと思いました。
17時40分 重労働こそしませんが
したが、避難者の人、西郷小の先
生、ボランティアの人たちとも話
ができました。たいした仕事もし

9時30分
トイレ
(外の大使用)

昼食時には何も配布がないのでお弁当はいると思う。

千六百三、西宮市平本所「六、十九
丁」E.L. 〇七九八一六五、四五〇〇

ボランティア

記録ノート

大阪教組がボランティアを派遣した避難所（学校）は11か所である。原則として、3人が泊まりがけで、日中は6人が行動を共にした。

以下は、ボランティアが記録したノートからの抜粋である。

(90)

上野中学校

2月11日(土)

昨日より水が出る。5台のフロを設置。西口さん使用試験で入られるも、6分で出て来て、実験台にならず(?)。また、着替え場所建設!に大活躍。

2月13日(月)

11時 中島さん、あばあちゃんの散髪を行ないおおいに喜ばれた。

2月19日(日)

8時30分 巡回、通常は眠っている人もあるので、声かけないが、朝一ということもあり、あいさつする。

声のかけ方 「おはようございます、ボランティアです。おかわりございませんか」

ボランティアと最初に名乗ること!

福住小学校

2月8日(水)

・年配のご婦人(1人暮らし)

家は倒壊を免れているが、行政より危険な為、退去命令が出ている。早晚、取り壊しの対象になるが、家の中の荷物(避難所では当面必

要な物ではないが)を出したい。

↓要望に応えて、ご婦人の家まで随行し、荷物を運んだ。

※一人暮らしの方など、協力してもらえ人間が少ない場合が多いのではないかと。やはり、こちらから聞いて何かお手伝いできることは?と声をかけていく必要性を感じる。そのご婦人は、「はじめ、ヒモをおかりできますか?」とおっしゃっておられた。自分から言い出しにくい方もおられるので:..

2月18日(土)

夜の打合せまでは整った環境で、みんなのマナーもよく、電話番号とお湯の管理ぐらいが主な仕事で、あまり出る幕はないなという印象だった。

しかし、「打合せ会」でわかったのは、

① この環境は、ここの学校の何人かの教師の献身的な努力で保たれている。

② 食事の手配「もうカップメンが三日分しかない」とか「カイロがない」とか、行政が行うこと
《生活のサポート》もその人たちが管理していること。

③ 実動部隊である「アドラ」

が3/4ごろに引き上げる予定であること。

④ ヒナンされている方々の自治的な活動に順序に任せていきたいが、初期のころのリーダーが転出したあとは引継ぎがでにくくなっている。

⑤ 教育にかける時間を長くしたいし、長くせざるを得なくなる状況の中で、内心かなり疲れているようである。(区役所からの出向は、他県からのサポートもあるが、9時30分~6時00分かえり、夜の会にも出ていない)

こうした中で、1泊2日体制の市教組のサポートはどうあるべきかは、市教組本部と担当3校(窓口のむずかしさはあるが)の直接ラインを、持った上で、行なうようにしないと、効果があがらなくなっているのではないかと思う。(その時々3人の機転や善意も大切ですが)

3月2日(木)

5時30分 起床 すでに起きて活動(そうじをしていた)している人が割と多くいた。

6時00分 管理員室へ:..と思った

ら鍵が内からかかっていた(福住小の職員の方が泊まっています)↓15分ほど開かず、職員室に行く

と、一人の先生(実は校長先生であつた!他に職員室の奥にも一人、寝ておられました。)が校長室で泊まっておられたようで、その先生に頼んで開けてもらった。

※前日から管理員室の鍵を借りておくようにとの申し送りはされていないので、前日に泊まれる職員の方々にどうすればよいかを話し合っておいた方がbetterでしょう。(ただ寝ておられる方をむりやり起こすのは気が引けますが)

6時15分 湯沸かし開始 その間朝食(前日ローソンで買っておきました)

せんたく場鍵あけ お茶はコマメに替えましょう。

(朝に残りを全部捨てて新しいのに入れましょう。)

7時00分~9時00分 対策本部で
電話番号(2名)

・中国人留学生が家主さんをさがしに来た。無事に会えて話がつき、めでたし、めでたし。その間、管理員室等清掃

5時30分 起床 すでに起きて活動している人が割と多くいた。

3月6日(月)

18時00分 前任者から引き継ぎを受け、やっと1日のスケジュールがわかってきたのに、帰らなければならぬ。とても残念な気持ちだ。年老いたあばあちゃん、おじいちゃんから「ご苦労さん」また「ありがとう」と声をかけられたとき、「少しでもお役に立つことができた」のかと思い、心が安らいだ。ただ、学校に勤務されている職員の方々にあまり支援できていないと思う。(活動をふり返っても、子どもたちの登下校指導ぐらいだ。) あったかい心をもって被災者の方々とふれあうことができて、一生の年輪をささむ。

3月12日(日)

活動者 (城北支部) 福田康宏
(太子橋小) 藤岡義行(高殿小)
16時30分 藤岡到着(JR住吉)
阪急御影王子公園 小雨がそば
降る中到着
17時00分 福田到着()

(仕事内容)

- ① 電話等とりつき方法、放送関係、名簿のとりあつかい
- ② 校内施設案内

・給食室の洗濯用コンセント

・洗濯物ほし場

・仮眠室、シャワー室、物資倉庫

非常にていねいに引きついでいただき、なんとかやれそうだと感じた。

18時15分 前任者、帰阪、親切に引きついでいただきありがとう、ご苦労様。

18時40分 初めて外部から電話連絡が入り、初仕事…。

19時05分 「本日をもって自宅へ帰られる」とのこと、「名簿から削除して下さい」と連絡とあいさつに…。一日も早く、日常の生活にもどれることを祈るのみ…。

19時10分 見舞金等申請書の受けつけについての問いあわせにいられた。

19時25分 湯茶飲み準備の係が少なくないということで、被災者の方の中からボランティア募集が必要となった。

19時30分 調査票(アンケート)を投函した2人の方が来られた。

20時10分 30分 電話が続いて4本入って来たり、明日、退所するということで手続きに來られたりで急に忙しくなった。

これで4名の方が退去されることに…。放送と同時に伝言文を受けとり来られ、本日の分は全て完了した。放送室の電源を全て消し、

施錠、名簿2冊を職員へ渡す。職員室へ放送室の鍵を返却し、鍵3本(給食室、3Fプール東1F北屋上)をあずかる。職員室には3名の職員が待機されていた。

22時00分 ①プール横 物ほし場の施錠、②1F北屋上物ほし場の施錠(ここは、非常にかたくて施錠にくいようだ…) ③給食室

横の洗濯機コンセントを2本とも抜き、給食室内側からロックして戸閉まり完了。(洗剤は給食室の中へ)

22時10分 職員室に行って仕事の完了を報告して部屋へもどる。教頭は職員の床で寝るとのこと…。

職員の苦労もうかがえる。

22時20分 シャワー室の電源の点検をするのを忘れたため再度、チェックをしに行く。既に完了済み。

—— おやすみ ——

3月13日(月)

5時40分 起床 明け方は、やはり冷え込む。しかし、稗田小での

ボランティア参加に比べて、ゆったりとねむれました。

6時00分 ①給食室の戸を開ける。そして、コンセント(洗濯機)を入れる。②屋上物干し場の鍵の開錠(2カ所)

空がどんよりと曇り、黒い山影のもとに電灯が点散している。地震前の夜明けはどんなだったろう。

7時00分 給食室の施設(カーペット、TV、電灯のスイッチoff、清掃後)

職員室へ、3つの鍵の返却 職員室で名簿2冊と放送室の鍵を受け取る。

教頭がすでに執務を開始していた。洗濯機を使用して、洗濯をする人もなごやかにあいさつをしてくれる。

7時15分 朝食準備のため、プレハブ1F廊下へ係の人は集合するようとの放送(担当の方が、自分で放送機器も操作される)

7時25分 朝食準備完了の放送——グループ代表3、4名で朝食をとりに行くとのこと。

7時30分 見舞金等申請書を受けとり来られたが、東灘区の知人のものということで9時すぎに再度、来てもらうよう指示。

9時50分 「春よこい」体操—校内放送—実施



7時35分 本日、転出される伊勢さん（福岡へ）が申請書を受けとりに来られ、ていねいにあいさつされてもどられた・

7時40分 朝食後は、申請書を受けとるために続々と被災者が：電話のとりつきと、その対応に多忙をきわめる。

・申請書を受けとりに来た方の名簿を最初の4〜5名はチェックせずにしたので、その反省に立つてチェックをはじめ。

・足の不自由な同室の方のために、申請用紙はなくなってしまうた人もあり、8時40分頃に来てもらうようお願いする。

8時40分 相生の方から2名の担当ボランティアが到着（1時間半程かかって到着とのこと）さっそく、小学生の登校指導に立つてもらう。

9時00分 キンコンカーン、コーンと学校らしい音、小学生の声もにぎやか。

9時25分 申請書の書き方についての問い合わせ、住所はどこにするか、電話番号はどうするか。

9時35分 転出するため、借りていた毛布をどこにもどせばよいか問い合わせ。区役所に申請書の件で問い合わせるが、区役所にも在庫がないこと。

9時45分 灘区役所より到着。

・申請書の件で打ち合わせ：今晚、準備できるだろうとの見通し、200部を準備するよう連絡すること。（区役所には急ぐ場合のみ対応）サーブ（ボランティア組織）の方が到着

9時50分 「春よこい」体操—校内放送—実施

10時00分 司法修習生3名がボランティア活動に参加したので、何かできる仕事はないだろうかと来られた。教頭に紹介し、引きつぐ。その後、ポリ袋をもらい、学校周囲と、シャワー室等の清掃活動実施

10時45分 体育館の中で、いびき、寝言がきつく、周りの人から苦情、班長さんと相談してもらうよう区役所の方が対応する。

10時50分 日教組現地対策本部へ連絡（241-9451）

①昨日の主な仕事内容

②被災者の状況、人数、自治活動の状況

③ライフ・ラインの状況

11時20分 雨が降りだしたため洗濯場を干している方への連絡。授業中のため、各部屋へ口頭で連絡。

11時35分 福祉事務所、県警等3名の巡回に来る。

・看護体制の確認

・被災者数 〃（400名）

・酔っぱらい等の問題の有無の確認（問題があればすぐに110番へ）

・ボランティア人員の確認（団体名も）

11時45分 郵便物到着

1、名簿を調べ部屋を確認。種分しまとめる（部屋ごとに）

2、本部が個人に直接、渡す。

3、本人がいない場合は、あずかり、夜に放送で知らせる。（7時に）

12時00分 東灘、元氣村（「障害児・者への介護サービス」よりお知らせを掲示してほしい旨の申し出。

12時05分 登下校指導、開始 12時30分終了 元氣よくあいさつをする子どもの姿を見てホッとする。かなりの車の往来がある。（学校職員が1名も指導に立つ）

13時20分 月、木巡回の「心のネット・ワーク」2名が来られる。

13時40分 看護婦さんより「16:00迄医者による検診あり」の放送を入れるよう要請を受ける。

14時10分 区役所職員の方が市教組のボランティア活動はいつまで続けてもらえるかと心配そうに聞かれた。顔色はもう土色、つかれておられる様子がありあり。

14時20分 申請書（見舞金etc）のセット（説明書、申請用紙、封筒）を作成—必ず明日、9時30分以降に配布するように引き継ぐ—

15時20分 16時00分 下校指導、元氣よく「さよなら」と言ってくる子どもが多くうれしくなる。

16時00分 市教組、酒井さんよりTELがあったとのこと、さっそく市教組へ。分会対策のため予定時刻には行くことができない、待っていて欲しい。西大阪（西九条小）の方よろしく—。

16時45分 放送依頼を受ける。

18時00分に放送……19時00分〜ダ

スキンの回収をするので管理員室へ持ってくるように。

区役所担当の方 871-5990 (灘区役所 ナンバさんへ)

17時15分 他の職員が本部より引きあげる。

17時20分 夕食の準備の放送

西郷小

4月2日(日)

地震直後の様子

1月17日 校長が最初に10時ごろ出勤。すでに、シャッターこじあけ、ガラスを割り、住民が非難。一時期1800人。廊下や玄関ピロティーにも。最初の晩は、パン一枚。

1月18日より、宇谷さんら出勤。以後、2月20日開校まで(最終の学校は、2月24日)、被災者の世話で、とくに、救援物資が夜に着いたりするので眠れなかった。2月5日より、北河内が来てくれて、特別教室を片づけてくれて、整理ができて、大変ありがたかった。職員室も、グチャグチャで、たおれたものをのりこえ、奥にコピーをとりにつたりした。

児童の確認作業を平行して行い、はなれ小島だった。トイレの仕事

をしてから、コワイもの知らずになった。

自分たちは、北海道地震のときなど応援せず、今、心苦しい。

4月4日(火)

箕面市教組 山田、木下

9時30分 TELかかってこない
ので、ここまでの感想。

大阪教組の仕事は、主に電話の取り次ぎの様です。本部と職員室の二カ所に分かれて、任務についています。大阪教組のために空けていたでいてる部屋は、空調もついていて、有難かったです。ここは、住民の方々の自治がしっかりと確立して、もっと大変なお手伝いになるかと思っていました。全くそんなことはありませんでした。4月6日から、学生さんたち、青森の消防の方々のボランティアは引きあげられるようですが、全く心配ない様子です。朝も、住民の方がトイレや部屋をきちんと清掃されていて、さながら、学校全体が大きなアパートです。しかし、宿直された浦川先生からお話を伺うと、地震が起こってから1、2カ月は本当に大変だったそうです。「机の下に入りなさいというよう

な防災訓練は全く役に立たない。皆なそうしたけど死んだ。」とおっしゃっていました。「家がつぶ

れてしまった、住民の方が、学校へ一斉に非難して来たが、学校も鍵がかかっていた。それでも、便利な場所を先に取ろうということ
で職員室の鍵を取るためにガラスが割られたり、むちゃくちゃになった。誰も「ここから入っていつて下さい、保健室は、病人の為に空けといて下さい」と言う人がいない」「ありきたりの防災訓練は全く役に立たなかった」ともおっしゃっていました。大阪へ帰ったから伝えてほしいこととして、以下のことをおっしゃっていました。
☆新聞では、教職員は減らされた
りしないと報道されていたが、籍
はおいてあっても、実際は、一旦
移動されられる形になっている。
☆非常事態(学校が非難先になっ
ていて、住民の方が来るのに職員
が学校まで行けない)のことを考
えて、PTAの役員の方や地域の
方に、学校の鍵を何名かにあずけ
ておいたら。火事が起こったりし
た時のためにも、学校に避難して
来られる際、特別教室は空けてお
いてもらう、などの内容もお願い

しなければ、いざという時、職員は動けない」という話。

4月6日(木)

箕面市教組 川上、山岡

15時45分 川上、山岡到着。17時30分に、区役所の西村さん、青森の山口さん、奈良岡さんが帰られる。引き継いでテントと職員室で電話の取りつぎ。

17時00分 お弁当(幕の内)、トマトジュース、カップそばが配られる。

17時30分 雑貨のために30人程の列ができ始める。(歯ブラシ、プラ皿、石けん、トイレットペーパー、プラコップ、生理用品など)次々増えた。

※職員室に1人行ってしまったて本部に1人だと身動きがとれなくなる。伝言は来ているけれど届けに行っている間に、また別の電話がかかってきたら困るし、うーん、どうしたらよいのでしょうか。と
思っていたら他の人がもどってこられたので届けられました。よかった、よかった。

※今日はあったかいと思っていたけれど6時半くらいから急に冷えこんできました。

ここの避難所が避難者自治の方向に向かっている……。

19時00分 神戸新聞の個人契約受け付け（今まで無料だったものが、個人契約になるとのこと。）混乱もなく本部に集中。

※移動のときに何回も電話の線をひっかけてしまったので、いろんな表示が出ていますがよくわからない：誰か機械に強い方、あとをお願いします。（ごめんなさい。）

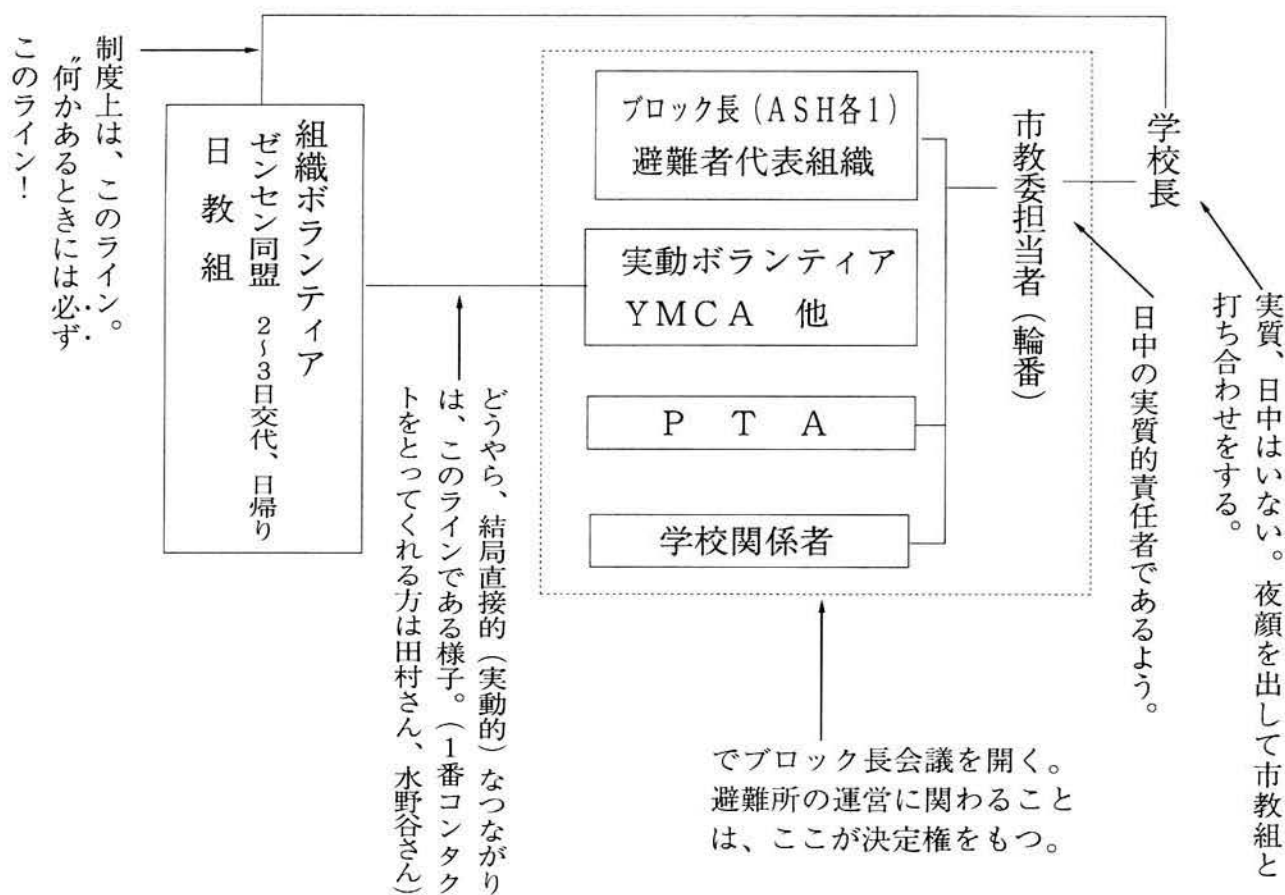
※今日は日中とってもあたたかかったので気分的にもウキウキする感じだったのでありますが、これで雨も降ったら、つらいだろうなあ……。本部での業務は本当に確実に整理されていることに、この二カ月間の多くの方の努力を感じました。（班分けも電話の名簿もここまでになるには相当の労力があつたことでしょう……）

夕方、1人の男性が「お世話になりました。娘のところへ行くことになりました」と言つて、住所、名前の書いた紙を見せに來られた。2人転出。

平木中学校

2月10日（金）

この避難場所は比較的組織的に動いている様子。観察によると、どうやら以下の様な図式らしい。



・貴重品は各自保管（身につけて、廊下側戸締まり、施錠。）

・1日の観察による私観（浅井）であるのでくれぐれも……。

・学校関係者（おそらく事務担当職員？）らしき人は、1名。

・日中の責任者は市教委。外部との正式連絡業はこの人に。

・避難者の自立を支える“というテーマはあまりにも重大な課題。学校―生徒―避難者―避難所で活動している人の中でのバランスを考えながら……、むずかしい！

・ここの避難所が避難者自治の方向に向かっている（他はかなりそうでもない）最大の要因は、地域性（日常のつながり）をもとにした部屋割り、ブロック割りであつたよう。―教訓。

・隣の部屋はTV室、会話注意。以上このページ文責浅井（箕面）

18日、19日 みのあ、山中、池田、平野、豊能、泉、連合、ITAIWA

2/18 (土)

10:30

引きつぎ、打ち合わせ

校内案内・トイレ消臭

- ・各トイレの位置・給湯室・うがい水・手洗い用の水のホース
- ・2/21(月)から給食が始まるので、自転車を通路におかれ、おにがある自転車に注意がきをする。
- ・2/21の朝食から夕食~~まで~~配布時に11:15に配ることになる。
- ・洗たくはフールサイド。(管理は各個人なので"手を出さない")
- ・フールサイド側の内、就寝時にとじる。
- ・金工室前の机に補助食品を(エネジ、ホカリ、カンパン等)

ちゃんとできるか不安... 10

11:30

ペットボトルに飲料水をホ給。(調理用水)

12:00

昼食 - みんなで持ちよたものを食べながら、前日のホラニアで感じたことなどをいっしょに話し合う。
(初めてあった人同士とは思えないよ)

食事4食分用意とありすが、みんなで食べれるものを次の人が前の人の分を買っていくのか"11/1"なと話し合いました。

1:00

手洗い用の水の補給

火の番 被災者の方と

話をしたり、水道課の人との話。

アパートがつぶれて、下の階の人は5人でくらゆてしまつた。自分の家がない。そんな自分は... 113113
話してくいたせ性がいしました。



たすけだしの
水ギョーザも
たべたよ

1:30

明日の朝食用のパンの仕分け

瀬野2しの指示でうごきます

や

ふんちん ぐんちん ぐんちん
つ113

その後、物資が届いたので~~毎~~荷物運びをする
夕食の弁当、お茶、オレンジ 600 ずつ
牛乳、フルーツ、野菜ジュース //

↓
夕食の仕分けは自治会が組織しているので、部屋をあけたす

5=30 に 体育館横で地域の人のお弁当を配る

ビニール袋等を持参している場合もある。

6=30 までにほとんどの人がとりにこられる (残ったのが 6 食分だけ)

※ 21 日から夕食の配布時間が 5=30~6=30 に
まったりせられる。

忙しいのは 6=00 までの間だけ。だから笑顔で
がんばって下さい。 

6=45~ 夕食

ボイスクラウトの炊き出しのスープをいただきながらの
食事。



箕面市の板東先生が豊中からお嬢さんをつれて
“おいしい”をしてくださいました。

とてもおいしい♡ なんかあたたかい気分。

7=30~ パンの仕分けの残りをあさる

板東先生も手伝ってくださいました

先生が 娘さんに被災者の様子、ボランティアの様子をしっかり
おせりおられたの印象的でした。

火の番。 たき火を消して部屋に戻る

反省会。 いっぱい話したのがあった。 9=30 ころ地震あり
平野ではすごい被害で、かしのやみにも反応。 予知能力があるのかなー

2月26日(日)

21時30分 サンケイ新聞の取材が来て、住民とトラブル。ついに3人の住民の方が本部へ相談に来れましたが、本部はだれもいない!! わたしたちの出番となりました。箕面の岡さんが一大決心して記者と談判。取材をうけた人と別の場所取材することになりました。岡さん大活躍の場面でした。(実は胸ドキドキ緊張の一瞬だったそうですが)住民の一人たちに感謝されました。本日最大のアトラクション!!

稗田小

2月10日(金)

夜中、2時30分頃、友人がさがしに来られる。今頃まで無事を確認できなかった人もホッとされました。

稗田小学校の教職員の方も、かなり疲れておられるとおもうのですが、よく動かれます。電話番号が我々の主な任務ですが、1人はフリーになれるので、積極的に仕事をみつけて下さい。

2月27日(月)

3時00分ごろ 聴覚障害者の方が

これ、楠が手話で対応。友人の両親がここにいるはずだが、姓は覚えていたが、名は覚えていないということだった。おそらくその人は、もうすでに転出しているようだったので、その転出先まで楠がついていった。転出先は発見できたが、家は留守だった。学校と一緒に帰ろうと楠はさそったが、もうこれで一人で大丈夫だということになり、再度困ったことがあったら学校に来て下さいとの約束をし、別れた。楠はその帰り、学校へ帰るのに迷って人に聞きながらやっとの思いで帰ってきた。

文責 楠

3月2日(木)

9時00分 大阪市立三軒家西小教頭よりTELあり「教頭先生はおられますか? 転退者の先生はおられますか? いくつか電話してもつながれへん。」と言って一方的に切る。すぐに、市教組本部吉田執行委員に対して、長小谷口が怒りのTEL。「神戸の実情がわかつたらん!!」

3月5日(日)

2時 福田さんと田中さん夜回り

に出られる。

見回りの様子

ほとんどの人が静かに寝られて特に異常はなかったが、3階の廊下で一人の人が大きな軀をかいて寝ておられました。今夜は特に寒いのに他の人に遠慮して廊下に寝られたのかなあと思いました。また、公園の方にも見回りに行きましたが、特に異常はありませんでした。今夜みたいに特に寒い日なのにビニルシート一枚で風よけだけのテントで寝ておられる人を見ながら、自分の生活の有難さがよくわかりました。

3月13日(月)

8時~10時 PTAの方が電話番号を代わって下さる。

中山政雄さんが労災病院で亡くなられ、明日告別式、妻がここに避難しておられるが、昨日病院へ行くと言って出られたまま戻っておられない。

多分周囲に気を使って知らせていないのだろう。

PTAの方が告別式の場所とTELをメモして下さい。

3月17日(金)

朝の新聞騒動

朝7時頃に毎日新聞が届く。これが毎回奪いあいになると話を聞き、6時50分から校門で届くのを待つことにした。7時頃になると同じく新聞ねらいで並ぶ人々が出てくる。こちらがボランティアだからとわかった、取られると思ったのか、「仕事に行く前に新聞読みたいもんじゃ。」「早よ来てならんでもんと遅いもんが一緒やつたら不公平じゃ」とボロクソに言われた。頭の中で「ブチブチ」という音がしたが富井新委員長顔を思い浮かべ「にこっ」と笑っている僕でした。

3月21日(火)

16時 おばちゃんが外に出ていきたいんやけど部屋に誰もいなくなるので鍵をしめてほしいと言ってくる。朝から一人で留守番をしてるらしくてさみしそうだった。でも避難所の部屋の鍵はしめられないということ。おばちゃんは肩をおとして部屋に帰って行かれました。

17時 部屋にまだおばちゃんが一人居ったんで、ちょっと話相手になってきた。55才の人やってんけ

「何んのお手伝いをしようか」と、若干もてあまし気味です。教頭は「これはいいことの前兆です」とおっしゃった。

ど部屋には家族もいなくてすぐく片身のせまい思いをしてはるのに不満をぶつける人もいなくてさみしそだった。私は話を聞くだけしかできひんかったけど、うれしそうにしてはって「ボランティアの人は明るいからいいなあ」って言うてはった。こんなさみしい思いしてはんのは、あのおばちゃんだけとはちゃうハズ。ちよつとヒマな時間にそうやって話をしてみるだけでも、いいんちゃうかなあと思った。根本的な解決はできひんけど。

3月25日(土)

△その1▽電話番。

△その2▽新聞を受けとると、すぐに職員室へ運ぶ。(分配は他の先生がされる)

その他は、もうここでは仕事はないようです。教頭のお話では、大阪の先生方の支援はたいへんありがたかったとのこと。4月1日からはボランティアは引き上げてもらっても良い。とのことでした。ちなみに、神戸市内から小学校の先生方も沢山応援に来られているので、今夜は大阪3人、神戸3人で、6人も泊まりで、「何のお手

伝いをしようか」と、若干もてあまし気味です。教頭に「これはいいことの前兆だ」とおっしゃってましたが、まさにその通りなのでしょう。職員室の放送は、我々が使用しませんが、時折、小学生がきちんと自分の任務として放送をしています。自覚的に神戸っ子が動いているのは、それにこしたことはないし、やつとるやつとるという感じでたくましさを感じています。

3月30日(木)

14時頃 3〜4回TELあり、被災者への問合せが多い。不慣れたため被災者を「避難民」といつてしまった。この言葉は、差別的なひびきがするので、使わない方がいいとのこと。

摩耶小

2月14日(火)

10時30分頃に学校着

活動内容

- ・学校長と面談、あいさつ。
- ・前任者との引き継ぎ
- ・給湯作業、まき集め：子ども達が手伝ってくれた。

・おにぎりの手伝い
・救援物資搬入の手伝い
特記事項

6時に給湯を終了するにあたり、5時50分頃に放送で呼びかけたところ、希望者が相い継ぎ、お湯が足りなくなつた。再度沸かしなおして、給湯が終了したのが6時40分になる。今後は5時頃に放送してもらう方がよい。
終了後、水で火を消し、お湯はそのまま。机やまきにシートをかける。

8時 ミーティング

・住民代表 各階に洗濯機設置の件、日没後は使わない。干し場は4F、etc。

・医師団より 診療時間 3時〜8時。

・学校長より 今後のボランティア活動の申し出について報告。

2月16日(木)、17日(金) 3時〜8時 移動温水シャワー、脱衣所付、広島県興和技研より。

2月21日(火)炊き出し、大阪府中華料理組合、朝中華がゆ、昼チャンポン、あんかけそば。

2月25日(土)昼、夜、26日朝、炊き出し、愛知県七福醸造

2月16日(木)マジックバルー

ンショーの企画 日赤岡山県支部

2月19日(日) 11時〜11時40分、神戸市保育所、紙芝居、人形劇、612教室で。

・灘区対策本部より、家屋の倒壊状況再調査の件、仮設住宅の件、義援金代理受領の件。

・今後のミーティングは、火・木・土の7時30分より取ることになつた。

不寝番

22時〜1時 山口、川又

1時〜4時 岡本(神戸市博物館)、守山(自治労愛知県常滑市)、

斉田(同左)

4時〜7時 鳥山(摩耶小) 木下

3月22日(水)

10時に学校着

校長へあいさつ↓10時30分酒井さんに合流・引継

連合ボランティア2名に合流(一周間目の最終日)

活動内容

10時30分〜12時30分 マキの整理

(切断・保管場所の確保)

1時10分〜3時 マキ集め、及び

周辺視察↓マキわり整理

3時〜6時 本格的に給湯を行う。

夕食（お弁当）

9時～7時（夜警）「職員室に話
30分ごとに見廻り」

※夜警当番

10時～1時 窪 岩木（北区の校

長先生）

1時～4時 久山・樟根 乾

（市教委先生）

4時～7時 東本・宗像（連合）

石川（先生）

◎給湯用について現在4つの茶び
ん

今日は5時30分に放送がはいって
急に大勢とりにこられたので待つ
てもらった。今後については5時
頃に放送お願いを行った。

2月23日（木）

6時

○朝用の湯を沸かす。

○1階、2階、3階の男子トイレ

清掃

8時30分 朝食 ※2、3階につ

いては基本的に住民自治により行
うことになっている

9時

○1階全体、階段1～4階の清掃

（掃除機で）

○各階のごみ集め（分別収集）

○1階ホール・玄関のすいがら清

掃

○給湯場の清掃、整理

12時30分 昼食

1時 給湯の火、飯たき

3時 引継を行い、校長挨拶して、
帰阪。

平木中

2月10日（金）

夜は、2Fの体育館で、ボランテ
ィア本部の水野谷さん鈴木さんに
さそわれ被災者となる。少し寒
いが一体感あり。みなさん、発ぼう
スチロールのボードとダンボール
でかこいを作り、小べやにしてね
ておられる。小鳥をかつている人
もいる。

夜中3時、少し寒くて目がさめる。
その後、地震あり、ドンとき上
げるようなかんじ、「あ、地震だ」
「大きかったね」と言ってみんな
起き上がりもせずねている。久し
ぶりに大きな地震とのことです。

2月11日（土）

斉藤

学校のすぐ裏手のガレキの家に花
束が置かれていた。ふただけにな
ったカセットテープのケースに丁
寧に書かれた曲のタイトルが残っ

ていた。

三人の家族がリュックを背に近寄
ってきて、「今日の炊き出しは何
ですか」と聞かれた。

「おでんですよ」と答えると、先
頭の母親が「どうする、ここでも
らってからよそへ回る」と言い、
父親と息子が黙ってその後をつい
て行った。

2月27日（月）

10時20分頃に学校着 やりたい、
やってみたいと思ひ続け、池教組
の呼びかけに27日、28日で希望を
して、OKが出た日から、待ちに
待った日が……。緑小分会の仲間
より平木中学校は自治組織がきち
んと出来上がってるから、「福本
さんは出すぎたらあかんでえー」
「支援者よ。」と言いきかされ、マ
スクまで頂いてきたので、出すぎ
ず、出しゃばらずをモットーに頑
張ります。

本日の仕事は、トイレの消臭剤ま
きから始まりました。平日には珍
しく炊き出しがあるということ
で、一同大張り切り。ところがカセ
ットコンロでは火力が弱く、野菜ス
ープは温まらないわ、時刻は11時
30分になるわ……。気持ちだけ前

に前にと進むけど、誰かがありつ
たけのお鍋、コンロを使おう、そ
こでスープをこわけにしたら、す
ぐに沸騰してきました。「また冷
たいご飯入れたら……」と言うと、
また、「ご飯は、電子レンジで温
めて入れよ」という知恵が働く。
みんなが一斉に動き出す。1時間
前に出会った仲間たちとは思えな
い。チームワークの良さで、みる
みるうちに暖かい卵雑炊が出来上
がりました。

午後からは、夕食（弁当とお茶）
を配る準備、朝食、パン・ジャム・
バターのセットを作ると、これも
先輩が、だんだん良く手順を考え
てくださったので、スムーズに
行きました。このレールを次回の
人にきちんと引き継いでいきたい
と思います。

5時30分より夕食と翌日の朝食を
配りました。心配していた数の不
足もなく、なんと、お弁当が1箱、
残ったんです。こんなことは初め
てだということ。これで、本
日の仕事なんと終了。水道が出
るようになったし、自治活動をき
ちんとして下さるので、我々の仕
事がなくなってきました。あすは、
大上先生より、引き継いだ、すす

んでするとよい仕事をやってみます。

朝（8時）に給水車が到着。すぐにペットボトルに水を入れてもらいました。大きなポリタンクに水を入れておくより、ペットボトルの方が使いやすいようで、水がなくなるのが早かったです。今日はゴミの置き場の整理をする仕事があり、この仕事でようやく汗をかくことができました。仕事をしている時間より、椅子を温めている時間の方が長かったような気がしますが、他教組の先生方との情報交換もできて、楽しい2日間でした。それでは西村先生にお願いをして、私は、池田に戻ります。

用海小

2月17日（金）

6時半ごろ、学校前のおばさんが、テレビがうつらなくなったので、見てほしいと言ってくる。橋本氏と高橋が行く。うらのアンテナ線のさしこみがはずれているのを橋本氏が発見し、すぐに修復。大変感謝され、コーヒーをいただく。このおばさん、沖縄に店をもっているそうで、その名刺をもらう。

沖縄に来た時には、寄ってくれということ。さらに、ペンションをもっているの、いつでも使ってくれと言われる。「沖縄宿泊所」を確保！大変ワリのいいテレビ修理ではあった。

2月23日（木）

夕食は、うどんのたき出しの手伝いをした。肉だんごスープが140食（？）きた。ポリユームのある夕食でした。私たちもごちそうになりました。

このときに、小学校6年生の男の子と少し話をしました。給食はパン、牛乳、パンケーキ、冷凍焼きいも、フムルンというようなメニュー。温かい食べ物がありません。うどんのだしがなくなつて、待つてもらつてるときに、ごめんな、肉だんご・スープ冷めてしまふなあ”と言うと、いけるよ、冷たいもん食べるのん慣れたから!!”と返ってきました。何というか：悪いことしたなあ（だしの準備が足りなくて）。可能な限り、温かいものを食べてもらいたいなあと思いました。

2月24日（金）

朝食は、6時頃から、ポテトサラダを作り始めました。そのポテトサラダをパンにはさんで出しました。残りは夕食のオムレツの横に添える予定。ポテトサラダに限らず、その日余ったものは、どうにかして、次の日に使うようにしている。坂本のおっちゃんはずい!!

（最後に）

初めはかたい気持ちで、このボランティアに参加したけど、初っぱなに、さかもとのおっちゃん「あんたらも、ここに来たからには、ひなんみんや、おれらと一緒にや」というようなことを言ってくれたので、すごく楽になりました。時間のあいているときなんかは、コーヒーを入れていろんな話をしてくれたり、失礼なことを言ったり、きいたりしても、笑いとばしてくれたり：仲間としてみてくれたので、すごく居心地が良かったです。

今は、陽気で温かい人たちですが、直後は、寝たきりだった：とも言うていました。手づくりのまな板、さいばし、などなど、みていると、ものすごい苦勞とがんばりがあつ

たんだということが分かります。まだまだかききれないことがたくさんありますが、とにかく、やってよかった。みなさんがんばって下さい。（引き継ぎノートじゃないですね、すみません）

2月28日（火）

チンゲン菜のはっぱをむしり、そのまま調理の手伝いをした女性です。とにかく、ずっと、ここに居たいと思った。おっちゃんやゆき姉、つかさ：に出会って。いろんな人：ボランティアの人とかも、そして、ひとみちゃんに出会って。ずっとここに居たいと思った。

今日、大阪にかえるけど、そこにもふんばる場所がある。気持ちと一緒に思ってる。ただ、又、来たい。来られんかもしれんけど？

？

ひとみちゃん、本間に嘘はつかんよ。ゆき姉へ舞鶴ぐらいはおぼえとくね!!

さかもとのおっちゃんへ、自分が大事やって言葉にします。奥深いですね。又、帰ってこれることを

切望して、次の人へとひきつぎしたいと思います。本当にありがとうございます。

3月3日(金)

感想 その1

たった2日間しかないので、ことはいろいろと思ってたけど、何もできなかった。避難している方の生活も見えた。

見通しがないのが厳しい。独りぐらしの老人にとっては、あの場所は、よかったのかも知れない。

阪本さんの「先生と警察はだいきらいやったけど、ここでやってみて、先生もいろいろあるな」ということがわかったということを聞いたのが、私の成果です。(泉南 崎山)

「また、来て、難民食、食っていき」

「また、遊びに来ます」と言っ、現地をあとにしました。

感想 その2

貝塚で、5時限目の授業参観の授業に1人遅刻して到着。

「はい、遅刻した先生は、バケツを持ってきて、水を入れて立っていなさい。」

「いやいや、遅れてすみません。いまの学校は、バケツしまへんね。」
「そやから、わがままなやつばかり育つんやな」という会話で、司君とスタート。

ボランティアは「自分のためにやる」と思っている高見です。

3月4日(土) AM5時30分起床、崎山さんと大平さんに朝食の手伝いをお願いし、校長室の守りをした。

今日は、体育館から、校舎3階へ引っこしする日。ふとんや毛布などを運んだ。たいへん重く、汗がたくさん出る。やつと引っこしおわった、10時過ぎから昼食の準備。「今日は、広島焼きをしよう」と被災者リーダーの阪本さんが思いついて、阪本さんのつれあいとほとんどで不足分を買い出しに行った。午後、静岡から現地の様子を教え、欲しいとTELあり。午後3時、貝塚の書記長・副委員長がバッテリーあがりのボンゴのバッテリーを持って到着。当初役立ったボンゴも今や不用になり、引き揚げた。4時にゼンセン30名が阪本さんをたずねて来校。
松原にあとをたくして、4時半過ぎに撤収した。

夕食の準備をにおいて、ボランティア全員(ボーイスカウト数名と牧田司君)と阪本さんが最後まで見送ってくれた。いつまでも手を振ってくれた。

3日夜、司君(16才)と話した内容

「最初から、ここに入った。その頃は、校長室で寝た。阪本さんにいろいろ教えてもらった。ボランティアをして、人間が変わった。いままで『ありがとう』と人になかった。」いろんな人と会って、いろんなことを体験した。」

司君は、京都郡部の小敷点在部落出身。理科室(物資庫)で司君、阪本さん、中村さんと話した内容。

「学校として突するところだった。――弁当の数の問題」中村さんは過激論だったので阪本さんがおさえた。(中村さんが消極的だったから、阪本さんが学校とけんかしたかも知れない)

「ボランティアの先生らは、みなおもしろいやつばかり。この校長、教頭は、いままで見てきたような人だが、先生にもいろいろあるのがよくわかった。わしは同和地区で生まれた。番地が4番地

とか、ほかにくつたにない番地が同和地区や。あの話をするで。朝の4時になったら、ニワトリが鳴く。スケベなニワトリで、なんて鳴くかという、○メッコッコッコ」理科室は、1日中笑いが絶えなかった。

帰る前、司君が免許証を見せてくれた。そこには、3ヵ月前までの彼の写真があった。頭の毛が真黄色で、アゴをつき出したツツパリの彼が写っていた。